

と所謂文化國においては國民の體力と云ふものが低下して行くのは當然のやうであると私は思ふ。これは私の抽象的な考へですが、世の中の文化が進むにつれ人間の環境が自然から遠ざかつて人為的に複雑になつて来る。その中に住んでゐる人間の順應力が環境の變遷に追従し得なくなるに従つて人と環境との摩擦が多くなる。この摩擦が國民の體力と云ふものを低下させる一つの大きな原因になるものだらうと思ひます。けれどもしかしこれは意識して必ず防げる。體育の定義は、元來人間の體の機能をよくする爲に、計畫せられた體の教育の方法といふのだらうと思ひますから、その定義から考へても正しき所の體育が最も強い力といふことは明白であります。體育が十分に効果を現はすためには總て訓練によつて、鍛錬によつて發育し得るだけの生理的な體の状態を與へなければならぬ。つまり幾ら鞭うつても進歩出来ないやうな弱體を與へて置いたのでは到底如何に體育を奨励しても目的を達し得ないと思ひます。今のお話の保健衛生並に社會政策的な解決がそれになるのであります。それによつて十分なる發育すべき素質が與へられてゐれば、これは訓練によつて、鍛へによつて吾々の體と云ふものは相當強い激しい仕事に耐へられると思ひます。

先程お話が出ました所謂頑張りとか、持久力と云ふやうなものは、結局その根本には生理的な機能と云ふものが必ずあるのであります。精神力のみで吾々の體が或る程度以上に動き得ると思ひません。人間と云ふものは訓練によつて相當に生理的の力と云ふものが殖えて来る。人間の力と云ふものは生理的な方面から十分検討すると云ふことが一番肝腎なことだらうと思ふ。所謂發育と云ふ點につ

いては最も我々が注意しなければならぬ。體力の向上の對策として一元的な國策遂行の機關としての所謂保健社會省と云ふものが出来ることと云ふことは誰しも非常な期待を持つてゐるのであります。さう云ふやうな仕事は中々結果のあがつて來ないもので、一年や二年でやつたことの結果はあがつて來ないと云ふことを頭からよく諒解してかゝるべきであらうと思ひます。どなたがおやりになつても一年、二年或は三年、五年で十分な結果を擧げて世の中に「どうだ」と見せなければならぬ仕事なら始めからやらぬ方がよい。どうしても結果は十年、二十年或は五十年の後に初めて立派に擧つて來るといふ覺悟でやらなければならぬ。斯様な仕事は永續性のあるやうな仕組のものでなければなりません。

## 絡む二つの缺陷

### 體力低下と生活不安

成田労働部長 最近景氣がよいために産業各部門、殊に重工業等における労働者の労働時間といふものが非常に長くなり、オーヴァertimeが非常に長くなつてゐるやうであります。労働者から見ますと少し辛いですが、長く働けば残業手當があるといふので將來の自分の體のことを考へず、その日その日を賃銀の多くを望んで働いてゐるといふ状態にあるやうに見えます。これは非常に大き



な問題ぢやないかと思ひます。労働力の増進といひますが、さういふ立場から見ても、亦今問題となつてゐる保健衛生といふ立場から見ても捨て置けない問題ぢやないかと思ひます。御承知のやうに工場には工場法があります。鑛山には鑛業法があります。十六歳以下の子供や女に對しては保護の規定がある。吾々の方では保護職工と謂つて居ります。十六歳未満の者並に女子の保護職工については現在十一時間以上働かしてはいかぬ、十一時間以内に三十分乃至一時間の休憩時間を設けよ、一月に二日の休日を與へよ、といふことを法律で命じて居るが、民間の工場では成年男子に就て何等法律の規定がないために只今申上げましたやうに幾ら働かせても法律違反にならぬといふことに現在なつてゐる。何時間以上働かしてはならぬ、一月に何日は休みをやらなければならぬといふ風に實際やつてゐる所もありますが、随分ひどい所もありますから、工場並に鑛業法の改正によつてさういふものをやめさせると云ふことが必要ぢやないかと考へてゐる譯であります。保健衛生と云ふ立場から見れば労働時間が短ければ短い程よいと云ふことになりませんが、一面生産力の擴充を考へねばならぬし、經營上のことも考へなければなりませんから兩々にらみ合せて、どの程度の時間にすることが最も適當であるかと云ふことについて今一生懸命に研究してゐるのであります。

それからもう一つ申上げて置きたいのは商店に働いてゐる店員と云ひますか、使用人と云ひますか、それ等の人達の體位が非常に悪いと云ふことは徴兵検査の結果等から見ても明かな事實であります。

そこで何んとかして店員に或る休養の機會を與へる、過勞に陥らないやうに適當に法律上の制限をすると云ふことが必要ではないかと、かう云ふことで私共の方で最近商店法を立案して公表して居りますから御承知のことと思ひます。閉店時刻を午後十時とすること、休日を毎月必ず一日はやらなければならぬと云ふのが一般商店に對する同法の規定であります。尙その外に百貨店とか、或は大きな小賣商店で澤山店員を使つて居る随分忙しい労働に服してゐるものがありますから、百貨店その他の大きな商店については現在の工場法或は鑛業法にある規定と同じ趣旨に基いて十六歳未満のもの女子に對して十一時間以上働かしてはいけない、その十一時間の間に一時間以内の休憩時間を設ける。又休日は今までの所三日と云ふことで發表されて居ります。大體農村にまで及ぼすのはまだ少し早過ぎるといふ考へ方から現在吾々の考へてゐる案では市部に限る豫定であります。市部に限つた致しても商店の数が約百萬、これに使はれてゐる使用人の数が百四五十萬人と云ふことになる譯であります。店の主人と使はれてゐる店員を合すれば二百何十萬と云ふ多數の人の保健衛生に資することになるのぢやないかとかう云ふ風に考へてゐる譯であります。

**暉峻博士** 勤勞大衆にとつての唯一の資産は労働力である。その労働力の根源は體力である。また健康なる身體的活動の上に顯はれてゐる潑刺たる精神をさして盛んなる労働力と云ふのであります。體力の問題は一見、労働問題、農村問題と別の意味をもつてゐるやうに一般には考へられてゐるのであります。國民生活全體

の問題としての體力問題の重點は、自己の心身能力の發育充實を達成することが、國民の第一の主要任務であると思ひます。このことについてはこれ迄國民の各自は勿論家庭も社會も、産業も、深く慮るところなく過ぎて來たやうに思ふのであります。明治、大正を通じての國力の進展、國家産業の興隆は國民の能力を擧げて動員し、働き通しに働くことによつてよくなし遂げられて來たのである。國民の體力を使へるだけ使つて來たのである。そしてその涵養、それを培ひ育てる仕事を等閑に付して來た。そこに大きな無理と缺陷が出來た。これが國民體力の低下の主要因であるとともに、またこれこそ國民生活の不安の最大の原因であると思ふのです。

この點から考へると、國民體力の低下と、國民生活の不安と云ふ二つの問題は、實は國民生活の全面的な産業化によつて巻き起された一つの楯の二面であるに過ぎないのだと思ひます。従つて國民體力の低下は實は國民生活の不安であり、國民生活の不安と云ふのは、國民の生存能力——體力の低下である。否、現代では體力——生活力は強大なる社會的産業的障壁と危険に當面してゐることを意味すると思ひます。ですからして、これに對する對策は生存能力を沈滞せしめ、萎微せしめる諸原因を排除し、國民をその生活の産業化の齎した壓迫からして解放するにあると思ひます。即ち勤勞大衆の生活の不安は生存能力の強化によつて、その體力の低下は作業能力の陶冶によつて、始めてそれを免除することが出來ると思ひます。體力と云ふも決して體力に於ける物的基本能力のみを指すのではなく、物心並び進む、物心共によく培はれ、よく鍊へられることを意味することは勿論であります。

ります。

日本産業發展の現段階に於ては、人間の能力の價値は益々重要になつて參りました。非常時と云ふことを考へると、その能力は單なる優良の技術と云ふだけではなく、最も強靱なる體力を必要とします。わが産業にとつて最も必要なものは目先に見えるだけの優良技術ではなく、根本的に必要なもの要求されてゐるものは、優良な技術の發展をその基資として有つてゐる人間であります。健全なる産業的能力の基資を國民中に涵養し、これを十分に活用する方法を確立することが、實は熱練工養成の最重要點であると思ひます。生産技術は枝であります。その枝をして繁榮せしめるのは根である。その根は國民の資質能力である。國民全體の能力——その體力の全面的向上を計る方途を外にして、生産力の擴充も、熱練工の養成も不可能だと思ひます。

以上のやうな觀方からすれば、體力向上の目標は生活能力の涵養にあると思ひます。現在の政治上にとりあげられてゐる主要な事項、例へば教育機構の全面的革新、生産力の擴充、國民生活の安定、これらの凡ては「國民の生活能力の涵養」にその目標を定めることが必要であると思ひます。即ち義務教育年限の延長は國民の第一義務たる國民各自の心身能力の發育を確保することによつてその生活能力を高め、生産力を擴充し、生活の安定を計るもつとも基本的な政策だと思ひます。また心身の能力を陶冶鍛鍊し最近頓に増大した健康の障壁を排除することによる體力の向上の社會的國家的施設は從來のやうに、その場しのぎのものではなく、凡て生活能力を實質的に高め得る力をもつ

たものにならなくてはなりません。國民の生活能力の向上のためには國家はあらゆる新機軸を創造しなくてはならない。それが國運を開拓する唯一の方法である。必要なだけどしどし金をかけ、努力を傾倒して大衆の能力をよく鍛へよく培ふ。これが今吾々のやらねばならぬ社會的國家的責任であると思ひます。産業自體も亦この責任を自覺することによつて、國家の産業としての認識を確立すべき時だと思ふ。社會省はこのために出來たのであると云つてよいと思ひます。社會省の目標は新しい國家情勢に適應し、國家人的資源の涵養と活用とに對して極めて積極的に有能に活動し得る機能をもつたものでなくてはならぬと存じます。社會省はこゝに頗る明確なる指導精神をもつべきであると存じます。全面的に産業化する國民生活に對應して、國民の能力がよく伸びよく保持せられ、よく活用されるための最も有力なる實行機關でなくてはならぬと思ひます。また國民を産業災禍と云ふ國民生活に迫つてゐる新たな危険と不安とから防護し得る有力なる物質的精神的武器供給の中心であらしめたいと存じます。

## 教育制度の改革

體育と經濟は不可分

野村 岩原さん學校方面の對策について何か御意見を：

岩原體育課長 大體お話が出ましたので教育の關係のことだけをちよつとお話して置きます。低下せる體位を向上しようといふにはどうしても原因を探求してかゝらねばならぬことは當然であります。すが、その原因は極めて複雑で各方面から協力してこれをやつて行かなければならぬのであります。従つて我々は教育の關係における範圍内で其原因を發見して、それを兎に角撲滅するといふ方針を樹ててゐるのであります。然し悪い原因が假にないとしても現在の青少年を一層強健に導くといふことも極めて大切であつて大體この二つの方針で進んでゐる譯であります。いろ／＼細かいことを申上げてゐるは限りがありませんが、大體としては結局教育のやり方の全般的な傾向についてこれを改善しなければならぬと思ひます。兎も角明治から今日までの教育は智能偏重教育と云ふ非難が多いと思ひますが、日本が世界の列強に伍して行くためには今日までの教育もやむを得なかつたでせう。然し今日では智能教育偏重時代に忘れられてゐた方面に向ひ大いに力を注がなければならぬと思ひます。結局は教育制度全般の改革をしなければならぬのであります。それが出來ない場合においても、少くとも體力を向上するに必要なる方面の改善を行ふことは極めて必要であります。もう一つの問題は、健康の問題を醫者に委せ過ぎて居つたといふことは事實で、學校の當局者が學生、生徒、兒童の丈夫な體を造ることは學校醫の責任であつて自分の責任でないかと考へて居た。この根本觀念をかへる必要があると思ひます。學校當局が健康の責任者であり、學校醫は健康を調べたり或は助長したり

することの技術的指導者であるといふ考へをもつて、校長をして在學者の健康を管理せしむるといふ建前に規定を變更中でありませう。さういふことは細いことのやうであります。最近生徒の衛生の問題等を教育者が學校の問題として考へて行く傾向は進んで來たと思つて居りますが、目下の傾向をもつて満足すべきでなく、力を致さなければならぬと思つて居ります。學校衛生の細かいことに就てお話しすると缺點が非常に多いといふのが正直な所だと思ふ。現在技術的方面を擔當する學校醫の制度は開業してゐる人に極く短い時間學校の衛生を囑託するといふ程度で、工場などに比較すると衛生機關が非常に缺乏してゐる。

従つて私共としては、現在の學校醫を相當の時間學校へ來て働き得るやうにしなければならぬといふ計畫を進めてをります。先程申し上げましたが教員が健康であると云ふことは單に教員から生徒に病氣を移すとか云ふやうな意味ばかりでなく、教員自體の健康であると云ふことが學校の生徒、児童に非常な感化力を與へる。是非共教員を健康にしなければならぬと思ふのであります。結核の方面については先程お話ししたやうな保養所の計畫等を進めて居りますがなほ教員をして體育に親しましむる方針をとつて、教員をして教室の教員でなく、運動場の方の教員であると云ふ方針をすゝめてゐる。實際問題として児童生徒の生活の實際についての改善が立たなければ、理論上の手段が出來ても仕方がないのぢやないかと考へて居ります。また青少年の身體を丈夫にして行くと云ふことに就ては、實は實驗を開始して見たいと思つて居ります。或る村なら村について學校の生徒若くは児童についてそ

の環境における保健衛生を考へられるだけ考へて、それを行はして見て、その効果がどうであらうかと云ふことを實驗的にやり、その結果が一定の年限を経て現はれたらその方法で改めて行くと云ふことが、必要ではなからうかと考へて居ります。また一般の體育問題としては心身の鍛錬に色々注意すべき問題があると思ひます。從來文部省がやつて居つたのは所謂一般の運動團體に對する助成奨励と云ふこと、青年團等の運動を適當に奨励する。甚だ不十分であるがさう云ふ方針をとつてゐた。將來吾々の對策として研究すべき問題はいろいろあらうと思ひますが、その内一、二の氣付きをお話しして見れば、體育に親しむべきことが國民の好ましい義務であると思ふやうにしなければならぬ。それには矢張り國としても一つの制度を設けると云ふことも必要ではないかと思ひます。青少年の體育並に體育に伴ふ訓練、いはゞ體育的の訓練に親しませる法律と云ふか、或はそれに類したものを制度に作ると云ふ必要があると思ひます。もう一つは如何に運動させ合理的に指導をしようとしても場所がなければならぬ。現在日本の狀況を見てみると都市計畫において運動場のことを考へられないことはないと思ひますけれども、甚だ不十分である。運動場設置に關する設置命令規定を設ける必要があるのぢやないかと思ひます。これは保健衛生或は體育の見地からばかりでなく國防の見地から見ても是非必要だと思ひます。運動場法といふものを設定する必要があるのぢやないかと思ひます。最後に國民が一つの義務として自分の健康の審査を受けねばならぬといふ考へを持つことが必要ぢやないかと思ひます。最近學術振興會等において體力管理法制定のことを政府に建議されて居りますが、

これは極めて必要であります。

### 末弘博士

吾々競技團體の者の立場から一二對策について申述べたいと思ひます。其一は國民體位向上の方策として競技運動を利用するに付いても十分科學的に研究し其成果を實行に移すに付いても萬事を科學的に考へて欲しいことでもあります。其爲には一面體育研究所の規模を現在よりも遙かに擴大充實せしめると同時に、之に大規模な指導者養成機關を附設し理論と實踐と兩方面から競技運動の利用を進めてゆきたいと考へます。第二に競技運動の奨励並に統制に付いては官民一致の協力を必要とすること、その意味において吾々は今回新設される社會保健省の中に立派な體育局を作り、出來れば外局として國民體育全般に理解と見識をもつ立派な人を長官にして欲しい。

同時にこれに應じて、體育協會その他競技諸團體においても従來の競技本位若くはオリンピック本位の考へ方及び組織を捨て、國民體育のため全面的に活動するやうにし、兩々相俟つて強くさうして健全な國民を作つてゆくやうにしたいのであります。他のことでもさうであります。殊に體育に於ては上から天降り式に萬事をやらうとしても旨くゆきません。官として自ら立派な指導方針をもち十分な財源をこしらへ且優れた人的要素を備へる必要のあること勿論であります。其指導を實行するに付いては民間團體と隔意なく協力することが必要で、體協其他競技團體に於ても其趣旨に於て新に方針と組織とを改定する必要があるが、官に於ても之と協力する方針と組織とを用意されることが必要で、かりそめにも官僚獨善的態度があつてはならないと考へる。なほ終りにも一つ政府は國

國民體位向上の基本的事項として如何なる場合においても、體位低下の事實と國民經濟の問題との間に密接の關係あることを忘れないやうにして欲しい。今夕各方面の方々に色々有益なお話を伺つた結果私が最も痛切に感じたことはこの點であります。要するに、問題を體位向上といふ一點にのみ局限せず、國家全體の建前から、國家の人的資源を如何にして保存し涵養すべきかを考へなければならぬ。農民や労働者の體位向上を考へるに付いては特にこの點に留意することが必要で、吾々運動競技團體關係者としてもこの事を一瞬時と雖も忘れてはならないと考へてゐます。

## 正しい保健教育

國力の根本は體力

### 藤村女史

國民體力向上の對策として腹腰が大切で、腹腰を主眼としない運動形式や教授は實にみじめで間がぬけてゐます。それに反して教材形式の中心に腹腰を取つた體操では肺、心臟その他の内臟機能を始め姿勢も運動もそれが中心となるので力が充實してゐます。日本人の腹腰が回復するならば健康體力は勿論日本固有の精神力日本魂も體の持久力もその中から出て來ると斷言を憚らないと思ひます。次ぎには體育指導者の知見を高め技能の發展が大切であります。日本は従來體操形

式迄文部省要目委員制定の要目を全國指導者に指導せられて居る。それは吾々指導者の能力が足りない爲であることは免がれないが、大體十年毎に大改正が行はれる。委員の骨折は勿論であるがその改正毎に全國指導者が自信を失つて東京の講習に駆付けたり、東京から委員講師を講習に奪ひ合ひで、體育界の大混亂と暗黒状態を呈して、他の學科には見られない哀れさであります。吾々指導者は寧ろ兒童學生について殊に地方に適應した教材や教授法を工夫し、それを文部省へ提出して批判認可を受けることが至當であつて其處に體育の效果は勿論、指導者の奮發も努力も興味も起つて來るのです。指導者は文部省要目を参考として生徒及び地方に應じた適切なる工夫、研究を以て生徒各自の健康を高めることは即ち眞の國民體力の向上の對策であると信じます。次に大學、専門學校生徒は競技を好む一部の者の外は體育は終つたと考へたり、馬鹿くさい幼稚なものやうに考へて居るものが多いのは體位下落の一大原因であると思ひます。體操及び競走遊戯等も教練に並んで嚴重に實行せられたいものです。ドイツの大學生などは日本の中學生より以上に無邪氣です。心身の健康は其處から湧き出て居ります。次ぎに家庭體育として女子に體育の眞の理解を持たしむることが必要であります。それには小學校、女學校卒業者及び職業婦人、一般家庭婦人のために運動場の設立及び小、女學校運動場の放課後の開放が急務だと思ひます。彼の歐洲諸國の職業婦人が業の終ると同時に運動服を提げて運動場へ駆込んで各自趣味的に又一般集團的に嘻戲として活動して居るのを見た時、日本の職業婦人が終業後、洗面場で鏡の前に白粉に身をやつして居ることを思ひ合しては國家のために涙の外はな



は行く強力に下の『動運の下の陽太く輝と氣空き夏』  
操體働勞のツイドルおてれ

い。日本婦人を體育運動に導くことは現在未來の國民體力向上の急務であることをつくづく考へさせられます。最後に申上げたいことは女學生時代に身體の健康を築くには女學校の授業を早く始めて午前中に終り午後半日は家庭に働かせることでありませぬ。女子に家事の働き——炊事、洗濯、清掃等——は身體の發育には最も効果的であるのみならず、女子の天職上又體質上缺くべからざる運動で、世界の統計上女子の壽命の長いのは之に原因する處も多い。ドイツでは男女共に彼の寒國で午前八時前に授業が始まり中間に簡單なる中食をとり十二時、或は一時に終り家にかへつて晝食をとり後は家庭に働く、彼のドイツ婦人の健康と働きの好習慣は茲に原因して居ると思ひます。

**野村** 時間も餘程遅くなりましたが最後に國民保健に關する中央機關の機構運営などについて誰方からか御意見を承つてこの會を閉ぢたいと思ひます。

**小泉陸軍醫務局長** 先刻は國民體力低下の現状につき二

三申上げたに過ぎませんが、それでも尙體力低下の現勢はたゞ單に體育運動の問題であるとか或は榮養の問題であるとか、或は生活様式の問題、或は又労働の問題或は更に醫療問題であるとかいふやうなことに限定されるものでなくして、更に廣汎多岐なる環境——天然的、人爲的諸般の環境事象に支配されて茲に到つたのであるといふことを推定するに十分なるものありと考へるのであります。従つてその對策なるものも自ら決すべきであつて、幸ひ今回政府において新設を決定されました保健省若くは保健社會省の機構なるものも、十分にこの體力低下の現狀に即して、將來を察し如何にしてこの頽勢を挽回するか更に如何にしてこれを増強するかといふことに考へ及び決定されるべきものであると考へるのであります。先程挾間局長からお話ございました所謂衛生輕視の弊は保健省の誕生によつて兎に角改めることが出来る。こゝに起ります第二の問題は、そこでこの省で何をやるかといふことであります、先程仰しやつた方もありますが、この保健とか衛生とかいふことに對する國民一般の認識が正當でない、衛生といへば塵芥汚物下水の處理とか飲食物の取締とかだけを聯想して衛生の本義には考へ及ばない。元來衛生といふことは天然の並に人爲的環境が人間生活に如何なる影響を及ぼしてをるか、之に順應調和するには如何にすべきや、そこに重要な保清保健の問題が起る。而して國民としての存在意義を明かにしその福祉康寧を圖るには如何したらよいか、大和民族遺傳物質を如何にして永遠に後世に傳ふべきか、列國との競争場裡においてどこまでも大和民族の生命を主張しその興隆を最大最近の目標として行くものなのである。だからそこには鍛鍊もあり苦行もある。

積極的指導もあるのであつて單に健康を守るといふだけのものではない。そこで衛生を確立して積極的に保健を策するに當つては、當然これに附隨して社會政策の實施を伴ふことになるのであります。然しそれは何處までも衛生實施——崇高なる皇國使命を達成するに足る國民體力の培養、最後の奮闘に耐へ得る精神的肉體的體力の養成が主であつて、そこに立脚する、社會立法の整備、その行政運営機關の統制強化であらねばならないのであります。然るに國民全體がかういふ保健衛生といふことに對してどうもはつきりした認識を持つてゐない。そこでこの認識を正しく持たせるための教育が必要であります。國民全體の間に認識がなかつたために従來衛生輕視の政治が行はれた。議會において保健衛生といふ話が出て來れば、議員は悉く退場してしまふといふやうな風であつたのであります。將來保健省が出来ましたも國民の生活を直ちに反映するところの、脈の打つて居る有機的の政策が行はれなければならぬと考へるのであります。かういふ意味において國民の衛生教育が重要であります。衛生といふと、何か人間を溫室的に育てることのやうに考へる者もあるが、それだけでは物の役に立つ國民的體力は期待し得ない。お互の鍛鍊苦行、寡欲樸俗によつて最後の奮闘にも耐へ得る體力——健康も作業能力も精神力も確保するのだといふことを、國民に確かり認識させなければならぬ。従來は此點に關してあまりに自由的な考へで居つたといふことも、國民體力の現狀がかういふ風になつて來た一つの原因であります。かういふことを考へて見ますと、國民に對してかういふ知識を教育するといふか、或は宣傳するといふか、これが



最も必要になるのでありまして、この點私は今回朝日新聞社がこの體力向上座談會をお開きになりこゝに御着意になつたことに對しまして深甚なる敬意を拂ふ次第であります。元來朝日新聞社は、スポーツを國民に普及しようといふことが、たしか大正十三年でしたか水野内相時代に、かうした運動が行はれた時に、率先この氣運助成に努力され、爾來引續き國民體力の向上運動に努力されて居ります。又最近には「神風」機の亞歐連絡記録飛行によつて、人と物との融合、機械と意氣との合體、強健なる精神と肉體とがあれば、如何なる難事も爲して遂げ能はざるなしといふことを國民に實物衛生教育されたといふ點に鑑みまして將來益々新聞社總動員でかゝる國民的教育に努力して載きたい。かう私は念願して居る次第であります。

## 生活を合理化せ

### 研究機關の設立急務

小泉陸軍醫務局長 最早十時に餘す所十分餘になりました。商店法だと閉店を命ぜられる時刻になりました(笑聲)極めて簡単に爾餘の對策の要旨だけを申上ぐるに止めます。

その二は公衆衛生の向上並に施設の徹底であります。本當の意味の衛生の向上、それに伴つて防

疫を確立する。これは本日はあまり觸れませんでした。チブス、赤痢、チフテリア、猩紅熱の如きは減少の傾向はないのであります。この豫防——防疫といふことを現在どういふ風にやつて居るかといふと、傳染病が発生したといふと、微菌を検査して患者を隔離して消毒をするといふことに過ぎない。その發生を未然に防止するといふ有效的確の手段は講ぜられてゐない。これでは豫防ではありません。國家に傳染病豫防消毒諸費といふものがあるが、これは發生を豫防する事には使用が出来ない。患者が生じなければ使用を許されないとはいふやうな次第で防疫に關しては醫學も制度も共に見直さなければならぬと考へて居ります。

その三は醫療對策であります。日本固有の醫療制度の美點は大に尊重存置する必要がありますが、更に現今の如き内外の情勢に鑑みまして醫療機關の整備運用に關しましては、今より考究することが絶對必要であります。只今の醫療機關のまゝでは、戰時においては直接戰闘に従事しないところの國民の醫療すらこれを擔當して行くことが出来ないであります。

その四には國民體力がかくの如く低下した以上は、この體力を向上する直接的の管理と施設とが絶對必要であります。體力向上は生れ出た子供から施したのでは既に遅い。その前の母親の體力から向上してかゝらなければならぬのであります。更にこれ等の施設をするに當つては國民體力の現狀と推移とを判きり調査してそれに立脚して企畫されなければ効果を期待することは出来ない。然るに現在はその調査が出来てゐないのであります。そこで國民の體力を定期的に検査して現勢を明かに

し、その向上改善に資することが必要となるのであります。これは實に大きな仕事になります。やらなければ眞の體力向上は策し難いと信ずるのであります。

その五は諸般の保育であります。胎兒の保育、幼少年者の保育、それから精神薄弱その他虚弱者の保育養護であります。

そこで當然こゝに國民の素質といふ問題が起るのであります。即ち優生學的考慮を必要とするのであります。

その六として各方面における生活の合理化であります。挾間君は都市と農村とを一つに纏めて一律にやつてはだめだといはれましたが實際その通りであつて、農村は農村、都市は都市、各々特異性があるのであります。更に都會として地方として地誌的に業態的に産業的に經濟的に各々特異性を具へてをるのであります。その環境支配下にある生活は夫々特異の影響を蒙つて居るのであります。そこで此の影響に適合して生活を意義あらしめるには生活の合理化が先決要約であるのであります。而して本問題に直ちに關係を有つものは先づ第一に衣、食、住、業の四つであります。此の合理化につきましては今までは何もやつてゐないと申してよい位であります。關東大震災の直後アメリカの松、杉などで盛に所謂文化住宅が建てられたのであります。それが日本の氣象風土に適する筈もなく僅かに數年を経ずして柱に火箸がツブ／＼通つてしまふといふ位に腐蝕して建築保安上困つた事になつたのであります。同様の關係は人の心にも衣にも食にも業にも生じて來たのであります。個人

の被服に對應する集團の被服たる都市にも同様の關係があります。居住都市民の生活を合理化する意味の都市計畫が洵に少かつたのであります。公園の問題、緑地の問題、日光の問題、交通の問題、給排水の問題、騒音の問題、煤煙の問題等々かういふものが一つづつ取上げられたのであります。一貫した居住民生活に即する根本問題に觸れてゐないのであります。又衣食住其他生活資源に對する補給運送等の整備事項など全く等閑に付せられてをるのであります。一例を米について申しても御承知の通り米は生産地から第一東京、神奈川、第二愛知、静岡、第三大阪、兵庫、第四福岡と、此四地方に集積して、それから全國の消費地に放散されるのであります。一度戦時になりましたら鐵道その他の輸送系統は一變しなくてはならない。此の狀況が世界大戦前に於けるドイツの麥粉と油脂との補給消費關係に髣髴たるものがあるのであります。世界戦争におけるドイツ敗戦の最大最近の原因は國民榮養の不及であつたのに顧みしても今から十分に研究準備しておかなければ國防の安固は期せられないのであります。さういふことから生活の合理化といふことを眞剣に考へて行かなければなりません。又農村の問題にいたしましても同様であります。先程小平さんのお話もありましたが、農村の經濟更生にもその根本に農民の生活の科學的合理化が存在しなくてはならぬと考へて居ります。年々百萬の人口は増しますが農村の人口は増して居ない。生れるだけの數が出なければならぬからであります。そして其青年は如何であるかと申しますと先程申し上げましたが如く都會で生れ都會で育つた者よりも更に不合格率を大ならしめて居るのであります。折角田舎で生れ田舎で育つたの

に小學校を卒へてから都會に出るために不合格率を二〇〇も増すとは何んと困つた事ではありませんか。如何にしても出なければならぬ、出れば體を害ふといふなれば彼等の新しき移住地の悪感作を克服し又新しき環境——氣候風土や諸般の社會事業や業態について彼等を適合せしむべき處置を講ずる事が絶対必要でありませう。即ち環境へ服合する——、悪い條件があればそれを排除し克服する。そして新しい希望に輝く生活を發見するやうにしなければならぬと思ひます。それは内地間の移住ばかりではなく日滿兩國を通じたものでなければなりません。この生活科學的の準備といふことが生活の合理化であり移植民政策の成功となるのであります。同様の關係は工業方面にも商業方面にも何れの方面にもあるのであります。

その七は先程も申しました通り社會政策の實施であります。以上申述べましたる積極的の保健策を處理し國民體力の向上を期待するためにはこれに附隨して日本獨得の社會政策を實施しなくてはなりません。それがためには勞働とか保險とかいふ方面の政策が取上げられなければならないのは當然であります。然しその實施には歐米の社會思想とは異なる帝國固有の社會正義觀に出發したものでなければならぬ。歐米の如く相互扶助を他から強要するのではその精神は己に没却されてゐるのであります。法律を以てこれを命ずるに至つては己に日本的相互扶助の精神は滅してゐるのであります。敷島の大和風な氣候風土と皇國振の生活とは世界何處にも之を認むる事が出来ないものであります。建國二千六百年かくして培はれ育てられた日本人の心と體との力を近代文化に應じて向上せしむるための社會

立法を完備してその行政運営の機關を統制強化する政策が絶対必要であります。それは眞の衛生行政に附隨すべき性質のものであります。

其八は人間生活科學の綜合研究機關の設置であります。醫學は素より日本人の體力——生活に直接關係ある人文、自然兩科學部門を綜合する一大研究機關を設けまして其の研究調査成績を保健行政の基調とする體力向上策の資源地とすることが絶対必要であります。米國第一のインスチテュート・オブ・ライフ・サイエンスもソ聯が昨年一億一千万留の巨費を投じて建設せる一大綜合醫學研究所もドイツのアルバイツ・ゲマインシャフト、ゾチアール・ヒギエーニツシエル、ライヒスフェルペンデの活躍も悉く國民體力の問題の關係する所頗る廣汎なるものあるからであり、其徹底せる人間科學的研究が絶対必要であるからであります。この研究機關は日本人の體力向上を目的とする研究所であつて、何處までも國境の嚴存する學術研究であらねばならないのであります。これが米、獨、ソ聯のそれ等が他の國には少しも研究の内容を發表しない所以であります。

**美土路編輯局長** 本日は非常にお忙しい所をお繰合せ下さいまして、又長時間に亙りまして非常に有益な御研究、或は御意見を拜聴いたしました。有難く存じます。只今小泉閣下からお話のありましたやうに、朝日新聞社といたしましては従前から文章報國、運動報國、航空報國、この三つを私どもの大きな信條といたしまして微力を盡して居ります。今日いろ／＼御意見を伺ひ、この問題が一層深刻な問題であるといふ事に思ひ及ぼして、益々その方面のために努力をいたしたいと存じて居りま

## 各國の青年運動

す。尙種々の御意見が多量に残つて居ると存じますから、今後機會を得まして御意見も拜聴いたしたいと存じまするし、更に私どもが今後その方面に努力いたしまする上に何分とも御指導御援助を仰ぎたいと思ひます。まことに有難うございました。これをもつて閉會いたします。

スンラフ

## 平和の戦士を自負

宗教的色彩を持つ青年組織

局信通一リバ

青春は人生の花であるといふ一般的な通念とは反対に、青春を呪ふ聲が佛蘭西のヤング・ゼネレーションの間にある。若い者は壯年者と同じに働いて然も賃銀が安い。學校を出ても就職口が無い。就職しても家庭を持つだけの収入が得られない。このやうな青春に何の意義があらうか——これが現在の佛蘭西の若き男女の共通した叫びである。

失業が青年の間に如何に深刻であるかは、十六人の見習い巡査の採用に對して實に五百十三人の志願者が殺到し、その中には十三人の法學博士三百人の法學士が居たと言ふ一事を以てしても察しがつく。

學生の生活だとして決して不況の嵐の圏外にはない。ソルボンヌ（パリ大學の文學部及び理學部）



古大砲をもち出し反戦運動の青年達

の學生が、内職に家庭教師の口を探  
す代りに（そんなものは探すだけ徒  
勞である）カツフェの給仕や、タキ  
シーの運轉手や、女ならシネマの案  
内人の口を探してると言つたら、  
日本の學生諸君は本當にするだらう  
か？

青年を不安に陥れてゐるも一つの  
要素は戦争の危機である。今日早晚  
世界戦争が、以前のそれよりもつ  
と残酷で大仕掛の戦争が勃發するだ  
らうと言ふことを疑つてゐるものは  
一人もゐない。併し一戦争が勃發し  
たら、眞先に戦線に送られるのは青  
年である。

このやうな境涯は青年を團結に闘

争に驅り立てずにはゐない。世界的不況以來、青年運動は著しく昂揚した。言論、結社の自由を享  
有してゐる佛蘭西の青年は、その信ずる所に従つて幾多の政治團體に結集した。それは大體既成の政  
黨の線に沿つたもので、主要なものは以下の通りである。（人員數單位千人）

組 織 名

人員數

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 一、共產主義青年同盟         | 一〇〇 |
| 二、社會主義青年同盟         | 六〇  |
| 三、非宗教的共和青年同盟       | 八〇  |
| 四、急進社會主義青年同盟       | 五〇  |
| 五、民主民衆主義青年同盟       | 一〇  |
| 六、若き共和國（カトリック社會主義） | 一〇  |
| 七、國家主義義勇青年團        | 八〇  |
| 八、アクシオン・フランセーズ青年部  | 二〇  |
- 一、二、三は大體左翼であり、四、五、六は中央派を形成し、最後の二者が右翼である。なほこの外  
にフランスでは政治結社ではないが、政治的色彩を持つ大戦従軍者の組織が有する重要な役割を見通  
すことが出来ない。（單位千人）
- 大戦従軍同盟青年部（左翼）
- 一〇〇

以上の数字は明白にフランス青年の左傾を物語つてゐる。

これらの青年組織はそれ／＼週刊又は月刊の機關紙を有し、青年に直接間接利害關係のある問題を取上げて論陣を張つてゐる。併し奇妙なことは、言葉の上に表れた限りでは左翼も右翼も大した差異がないと言ふことである。

彼等はいづれも青年の生活権を擁護し、彼等の餘暇の利用（スポーツ、娯樂、旅行等）の便宜を計り、平和の爲めに戦つてゐるのは自分達だと揚言してゐる。左右の差別は、共產主義的獨裁を採るかフアツシヨ的獨裁を支持するかによつて分れる。従つて一方に於ては蘇聯邦、他方に於ては獨伊の經驗がものを言ふ。思想運動は政治運動の背後に押しやられて了つてゐる觀があるが、併し國民の多數が依然敬虔なキリスト教徒であるフランスで、宗教的色彩を帯びた青年組織の持つ力を過小に評價してはならぬ。

純思想運動の分野で、特に學生の間に、勢力を持つものを強ひて求めれば、基督教的な傾向を持つた「エスプリ」と、主として社會經濟問題を取扱つてゐる「新秩序」の二雜誌であらう。

猶この外、前世紀末から本世紀の初めにかけて青年を支配したベルグソンの神秘主義的、形而上學的、思想的反動としての、科學至上主義的、實證主義的（そしてその限りでは十八世紀の百科全書派やオーギュスト・コントの流をくむ）合理主義者聯盟の運動も注目を要するものであらう。青

年運動が如何なる方向に向つて展開して行くかは、一方において社會的經濟的事情に係つてゐると共に、他方において親子關係にある一般政治社會運動の動向に支配されること多大であり、又この一般政治社會運動の消長は多數の國が相隣接してゐる歐洲では多分に國際問題とも關聯するので、正確に豫測することは困難である。併し人民戰線内閣がフランスを支配する限り、青年運動も亦この方向に展びて行くことは明白である。勿論右翼の勢力も増大するではあらうが、テンポにおいて遅いであらう。

# イタリ

## 犠牲と復古と

### 第三國民の指導精神

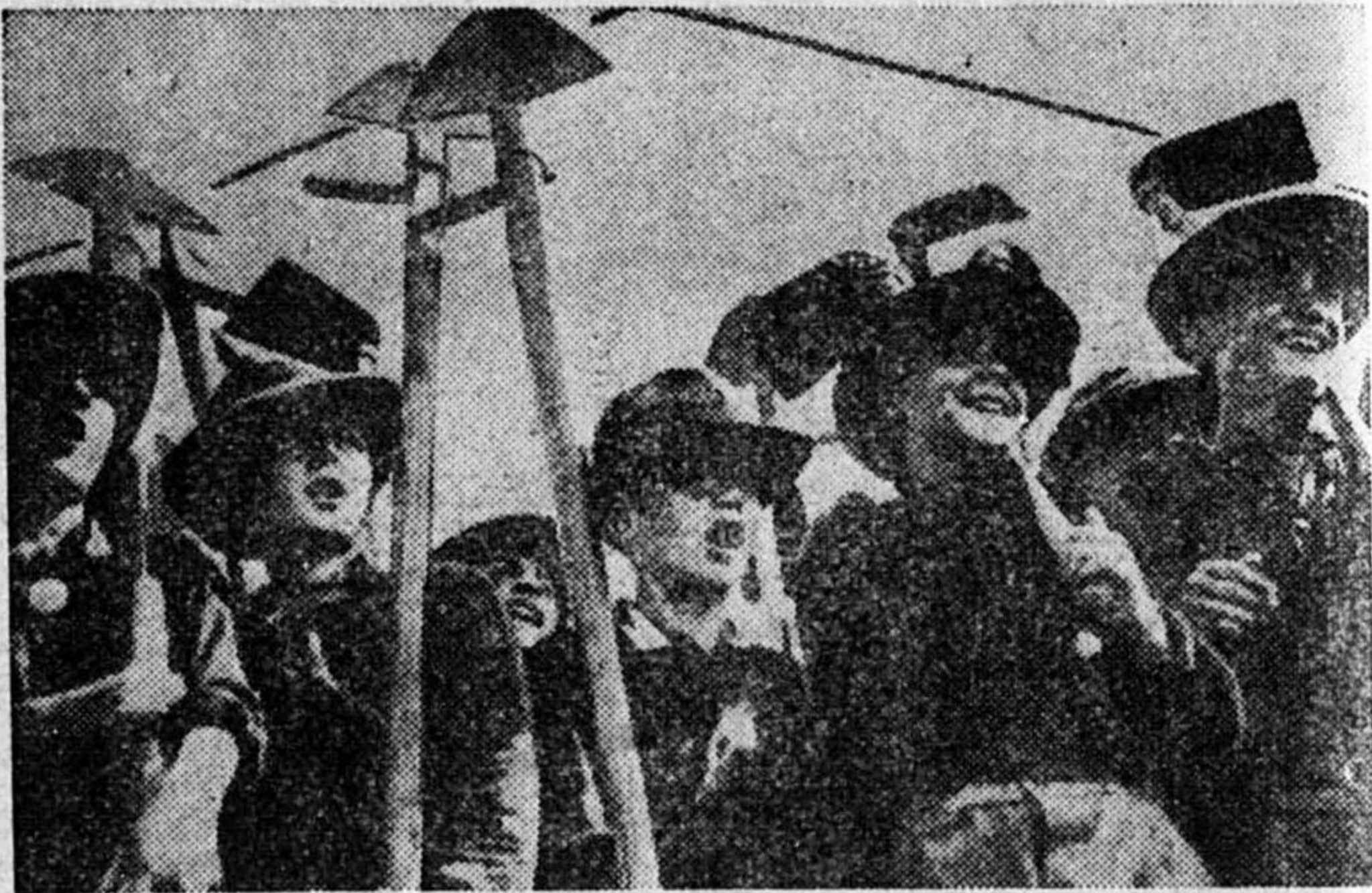
員派特田前マーロ

イタリーに於ける現在の青年運動も既に十有五年以上の歴史と経験を持つことになる。何となれば、この運動は事實上ファシズムの發生と共に發生し、その發展と共に發展して來たからである。換言すればかのポリシエヴィズムに對する反動的黒シャツ革命が、最初は無意識的に組織なき青年運動を喚起し、革命の安定化と共に政治的指導者の下に統率せられて、それは有意識的且組織的な存在と變つて來たのであつた。戦後のイタリーを混亂と無秩序に陥れたボルシエヴィズムを排撃すべく、國家社會主義革命の爲に起つた大戦の勇士を基礎とする所謂「戰鬥的ファシヨ團體」では、純朴な青年労働者の熱意と、全イタリー大學生の熱情とが重要な役割を演じて居たのであるが、この熱意と熱情が現在のイタリーにおける組織ある青年運動の出発點となつたことは否定出來ない。

だが、それが、無意識的で組織なきものであつた時代にも、有意識的で組織あるものとなつた後においても、この運動の基礎的精神ともいひ得るのは明かに犠牲主義と復古主義の二つである。

自由主義は個人的立場を闡明するのに急であつて、時間の経過と共に個人が國家に對して持つ地位の闡明がだん／＼不明瞭となつて來た。従つて封建的國家主義から個人の奴隸的立場を解放しようとした自由主義は、何時の間にかその内容が個人的利己主義と變つたとイタリーの青年運動指導者達は會つて信じ、現在も信じて居る。其處でこの青年運動の基礎的精神として「國家といふ全體社會に對する國民といふ分子の自我を没却した奉仕」が提唱せられるのである。

輝かしい過去を持つ國家が混亂と無秩序に直面した際、きまつて一部有識者流の肺腑を通じて湧き上



イタリーの青年運動



る叫びは「昔に還れ」のそれだ。それは時代を超越した甘い懐古的感情以外の何物でもないかのやうに見えるにしても、混乱に彷徨する人々の心を掴むには極めて効果あるスローガンである。

以上二個の指導精神は「肉體的に精神的に健全なる第三の國民を養成する教育」といふ目的の下に素朴的な青年運動を今日の「組織」に迄誘導して來たのである。

イタリーの青年運動は大別すると「バリラ運動」と「青年フアシスタ」及び「大學フアシスタ運動」の二になる。前者は一九二六年四月三日の勅令、後者は一九三〇年十月のフアシズム大評議會決議によつて決定せられた。此の兩者の區別は前者が主として満六歳から満十八歳未満の者に對する教育運動であるに對し、後者は満十八歳より満二十一歳に至る間の青年に對する特殊教育であるといふ點にある。又換言すれば「バリラ」運動は一般の幼、少年に對して將來、フアシスタ國家の國民たるの基礎教育を行ふのを主眼とするのに對し「フアシスタ青年」運動は直に第一線に立つべき青年への實行に關する準備教育であるとも考へられるのである。

「バリラ」といふのは、百九十年程以前にゼノアに住んで居た勇敢な愛國少年の名前である。此のいたいけない愛國者は一七四六年、ゼノアでオーストリーの警官に投石して、全イタリーに於ける第三國の政治的勢力驅逐の口火を切つたのであつたが、ムソリニ首相は深く此の故事に感激して青年運動に名付けるにこの名前を以てしたのであつた。「バリラ」運動が國家の基本政策として實施せられてから變遷を辿つて見ると、一九二七年には身心鍛鍊の獨立機關として小學校の體鍊教育を

包含することとなり、一九二九年十一月には文部省の一局となつた。そして此の運動を其の創成の當初から指導して今日に至つたのは、レナート・リツチ氏で彼は體育國務次官なる特殊の地位にあつた。此地位の名稱によつても明かなる如く「バリラ」運動の最初の目標は「青少年の身體鍛鍊」にあつた。

## 良妻賢母の養成

これが少女バリラ訓練の目的

「バリラ」運動は大別して左の二種とする事が出来る。

### 一、男子バリラ

A バリラ B 前衛隊

### 二、女子バリラ

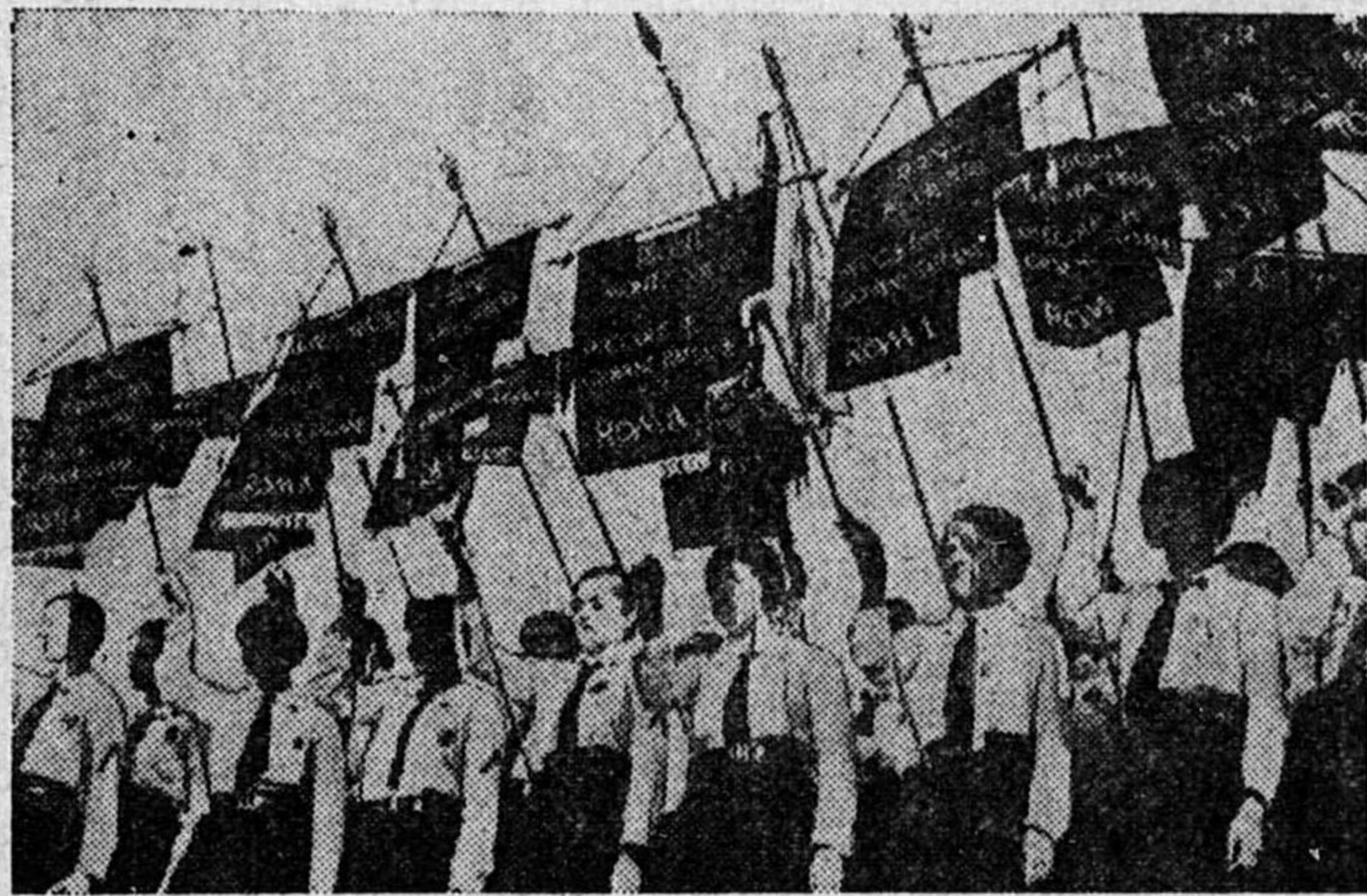
A 少女隊 B 女子青年隊

そしてAのバリラの中には「狼の子」(六歳—八歳)「ボーイ・スカウト」(八歳—十二歳)「バリラ騎銃隊」(十二歳—十四歳)があり、Bの前衛隊の中には「騎銃前衛隊」(十四歳—十六歳)「機關銃前衛隊」(十六歳—十八歳)があり、又別に「少年海兵團」が組織されて居りこの中には「狼の子」(六歳—八歳)「信號、水先隊」(八歳—十二歳)「砲、機關銃隊」(十二歳—十八歳)がある。

男子バリラの訓練は凡て「黒シヤツ義勇兵團」の將校が之を擔當し、女子バリラは「オルヴィエ—女子體操學校」出身の小學校教師に委ねられて居るのである。

「バリラ」運動の現在の目的は肉體的、知的、道德的且宗教的訓練をなすに在るとは運動當局の要求する所である。ではこれ等の諸目的達成の爲に、一體如何なる方法を採用しつゝあるか、先づ身體の鍛鍊の爲に、各學校の體操教育が地方委員會の示唆に隨つて、そのプログラムを決定する許りでなく「バリラ」本營は學校教育の餘暇を利用してキヤムピングその他のアトラクティブな訓練を行ふのである。これ等の教練は昨年春迄各日曜毎に行はれて居たが、舊教國として法王廳筋の希望もあり現在では、土曜の午後に變更され之をフアシスタ土曜日と名付けた。そしてかゝる身體訓練の成果を一層顯著にする爲に「ローマ進軍記念日」を期して大賞牌を賭けた全國的競技會を開くのだ。

知的訓練の方法としては課外講義、夜學、特殊圖書館、巡迴圖書館、博物館、記念碑訪問、教育旅行等が頻繁に行はれて居るし、宗教的訓練の爲には各分團毎に團付牧師が任命せられ、基督教的教



少女隊の勢揃ひ

育を一步蟬脱して客觀的な倫理的指導が行はれて居る。

其他職業指導機關が完備し、之を中心に各地方毎に特種産業と密接な關係を持つ職業指導がなされるのである。又モデナのパヴツロ・デル・フリニヤーノには前衛隊の爲の飛行學校が特設せられ、飛行士機關士、無電士、空射砲々手等の特殊技能の養成に努めて居る。

少女隊の訓練は未來の良妻賢母を造ることが目的であり一般に想像せられるやうに軍事的訓練は施されて居ない。かゝる訓練の爲に至る所に「イタリー—少女の家」が設けられ、體育、家政教育、衛生教育、勞作教育が施され、讀書室やクラブが併置されて居る。

併せて「フアシスタ青年」運動は正確にいへば「戰鬥的フアシスタ青年」運動と呼ばれるのであるが、

此の組織の直接目的は一九三〇年十月のファシズム大評議會決議が「戰闘的ファシスタ黨の直接統制下に在り」と規定して居るやうに、ファシスタ黨員の資格を完成するにある。此の決議の出来る以前には、ファシスタ黨員たるの資格を有するものは單にバリラ組織の關門を潜つた者のみであつたが、ムソリニは新に此の運動を組織づけることに依つて参政の野心を凡ゆる青年に解放したのである。

四月廿一日はローマ誕生日に當るが、バリラ前衛隊はこの日莊嚴な舉式により「戰闘的ファシスタ青年」團員となり、そして直ちにミリツィア（國民保安隊）及びファシスタ黨に編入されるのである。之を「ファシスタ徵募」と名付けるのだ。但し徵募の基準として彼等が、道徳的精神的及び軍事的訓練において「選ばれた者達」でなければならぬとする。そして、軍隊教練とファシスタ政治教育が彼等に課せられる日課となる。

女子青年團は一九三〇年に初めて組織せられたもので、この組織では少女團と異り各自の進路が二つに分割される。一つは家庭の主婦としての進路であり、他は職業婦人としてのそれである。随つてこの二つの進路につれて教育も夫々分類せられることになる。この組織の構成員は滿十七歳以上の女子に限られて居る。

以上の諸運動と關聯を持ちながら、然も別個の組織として「ファシスタ大學生」團の運動がある。然もこれこそは發生的にはイタリーにおける現代青年運動の本流をなしたものであつた。この運動が最初に起つたのは一九二〇年のことであり、同二三年のローマ進軍に際しては初めてフローレンスで

その第一回會議が開かれたのである。爾來、この運動は常にファシスタ運動の側面掩護の役目を擔ひつゝ、その發達に血の犠牲となつたのである。現在における同運動の組織や、活動やは大體「ファシスタ青年」運動と類似し、たゞその構成員が悉く新進氣鋭のインテリゲンチヤであることのみが異なる點であるに過ぎない。



進行の生學るけ於に式兵觀念記立獨

やかな軍樂隊のマーチが聞え出した。見物に奔めき合ふ大群衆の前にやがて隊伍堂々現はれて来たのは白ズボン白シャツ、胸にクラブの徽章を付けた青年團の愛國行進である。急激の如き拍手が期せずして湧き、熱狂する群衆は青年團に歩調を合せて行進する。これが牧歌高らかなブラジルだらうか。この民衆の興奮はどうだらう。やがて廣場では大統領が國務大臣を率ゐて親臨し、ブラジル空前の催しは大成功裡に終つた。

この光景を見たものは誰でも青年ブラジルの生々しい胎動を感じたであらう。正しくブラジルは今維新の眞最中である。ブラジルの維新は一九三〇年の革命に初まる。革命軍が勝利を得て現政府が樹立されるや、國論は急角度に一轉し、従前の外國資本と移民を導入せんとしたインターナショナルイズムは全く影を潜めるに至つた。上は大統領、國務大臣より下は一労働者に至る迄、口を衝いて出る言葉は愛國主義國粹主義である。嘗て歐米人に對する劣等感から

## ルジラブ

### 席卷する黒旋風

#### 國粹教育への情熱

ロイネヤジデオリ  
員派特藤近

遠く南米に隔在するブラジルにも世界的な非常時の波濤がひたひたと押寄せ、強烈なナショナルイズムやナチ張りの愛國運動が物凄く渦巻いてゐる。

傳統も歴史もない昔ながらの移民の集まりと考へられ易いブラジルだけに、青年を對象とし、青年を基本とする力強い國粹運動が存在するといつても奇異の念を抱く人が多からう。事實記者も昨年九月七日、獨立記念日の前日、初めてその實情を目撃して驚嘆せざるを得なかつた。

その日ラパ公園海岸通りは觀兵式の見物人で埋め盡され、人の波はリオブランコ大通りの入口迄續いてゐた。平常は自動車の溢れてゐるリオブランコも、今日ばかりは一臺もなく、立並ぶ店舗も休業、人の姿も疎である。何かあるのかしらと思ふ間もなく、突如リオブランコの遙か彼方から華

脱却し切れなかつた國民も、今ではブラジル人たることを自ら誇るやうになつた「ブラジル人第一」の時代が到来したのである。このナショナリズムへの轉換はどうして行はれたのであらうか、一度眼をブラジル國內に轉ずれば一切の事情が明瞭となる。

世界大戦の危機が迫り植民地の再分割論が喧しい今日、これ迄のやうに外國勢力の浸潤を放置する自由放漫政策はブラジルに取つて頗る危険である。更に國民の一分は外國人であり、その第二世を放任しておけば、ブラジル人としての意識がまるでない國民が出来上る虞れがある。かくてナショナリズムへの猛進、愛國心の鼓吹が急激に開始されたのだ。新憲法はこの精神を如實に反映してゐる。

例へば日本にも一時衝動を興へた移民二分制限を初めとして、歸化人の代議士選出を禁じて生粹のブラジル人のみとし、外國人は辯護士、醫師になる事を得ず、一萬町以上の土地のコンセツションは州政府の自由處分を許さず上院の協賛を要する事とした。このために我がアマゾン産業株式會社の百萬町歩のコンセツションが行惱みとなつてゐる事は度々報道された通りである。鑛山水利等の權利はブラジル人又は内國會社に優先權を興へ、既存の諸權利も自國民化しようとしてゐる。

ブラジル全土に澎湃たる維新の機運は、憲法の改正だけに止まつてゐない。それはブラジルの未來を擔ふ青少年の育成が眼目であるとも云へる。ブラジル人の六割は文盲なので、青年の愛國心の涵養と並んで青少年の教育は重要な問題となつてゐる。學校ではブラジルの歴史を必須課目とし、公開の席では國歌合唱を強要し、小學生に對する外國語教授を禁止した事や、過日の青年の示威行進等は何

れもこの精神によるものである。民間の有識者もこれに應じて立つた。

數年前に設立、故アルベルト・トレス博士の愛國運動思想を普及せしめんとしてゐる「アルベルト・トレス友の會」は、邦人には排日團體として注目されてゐるが、その本來の目的は教育普及であり、特に小學校を立て農業クラブ、農業週間を設置して農業知識普及に盡力してゐる。

時代の呼吸に鋭敏な青年層は、この雰圍氣の中に立つて全般的に愛國運動に熱中してゐる。ブラジル維新の原動力はこゝに潜んでゐるが、彼等の内には單なる愛國運動に満足せず、進んで急進的な右翼運動に参加する者が非常に多い。ブラジルのファツシヨ・インテグラリストがこれである。

## ファツシヨへ追従

### 謎の男・サルガード

數年前サンパウロ州政府の機關新聞ではあるが、餘り勢力のないコレイオ・パウリスタと云ふ小新聞編輯室に、共和黨州議員と云ふ肩書を持つ一記者がゐた。彼の名はプリニオ・サルガード、其後歐洲を視察し獨伊のファツシズムの物凄い興隆ぶりを見て歸國し「ブラジル研究中央會」を組織し、一

九三二年右翼運動への第一歩を踏み出した。折能く同年サンパウロの革命が勃發した爲サルガードの運動は一層注目を惹くに至つた。

即ちサンパウロは一州でブラジル物産の半分を生産する強力な州であるが、その二年前の革命で



ドーガルサ・オニリブ

で見たのに倣つて彼はDの印を紋章とし、縁のシャツを制服と定め青年を糾合して茲にナチ張りの

X

X

インテグラリスタ黨のリオデジヤネイロ本部をキタンタ街に訪れる。三階建の家で一階と二階は黨の機關紙オフェンシーバが占めてをり三階が本部になつてゐる。友人の黨員に案内されて首領官房室に入ると、十人位の面會人が待つてゐた。友人が室に入るや否や右手をあげて「アナウエ」と挨拶すると、皆同じやうに「アナウエ」と返事する。この點から見ると全て黨員らしいが、一體「アナウエ」とはどういふ意味かさつぱり分らないが、間もなく室中の者が直立不動の姿勢で右手をあげ「アナウエ」と云うと同時に、白服の小さい瘦せた男を先頭に數人が同じ挨拶をしてサツサと官房室の奥に消えた。奥の室に案内されてから驚いた。今の小さい男がブラジル中の注目を集めてゐるインテグラリスタ黨首領サルガードであつた！。挨拶ばかりでなく、髭までヒトラ一そつくりのチョコビ髭で頬の肉の落ちた四十男だが、流石にどことなく精悍な面影と、人を惹きつける魅力を持つてゐる。話は餘り上手ではないが、ポツリポツリ彼の語る所に依ると、

インテグラリスタの思想はナチスでもファツシヨでもジャコビニズムでもない。三者の長所のみを取つたもので、ブラジルの政治的統一を期する爲に、現在の二十三州を十縣とし、強固な中央政權を樹立するのが主要目的である。これに伴ひ社會文化道德の改革を斷行せんとする。現在黨員は百萬もあつて隠然たる勢力を有し、大部分は十六歳乃至二十五歳の青年で三千の都市に支部を有してゐる。黨は特別に少年部を有し、二千のインテグラリスト小學校が建てられてゐる。昨年十一月北部ブラジルに勃發した革命が鎮壓されるや、聯邦政府は革命を以て共産黨の叛亂と稱

し猛烈な弾壓を下し、リオデジヤネイロ市長を初め上下兩院議員、大學教授等有力者が投獄されたが、「あの事件の背後に我々が働いて共産黨を倒したんですよ」

とサルガード首領は頗る得意である。

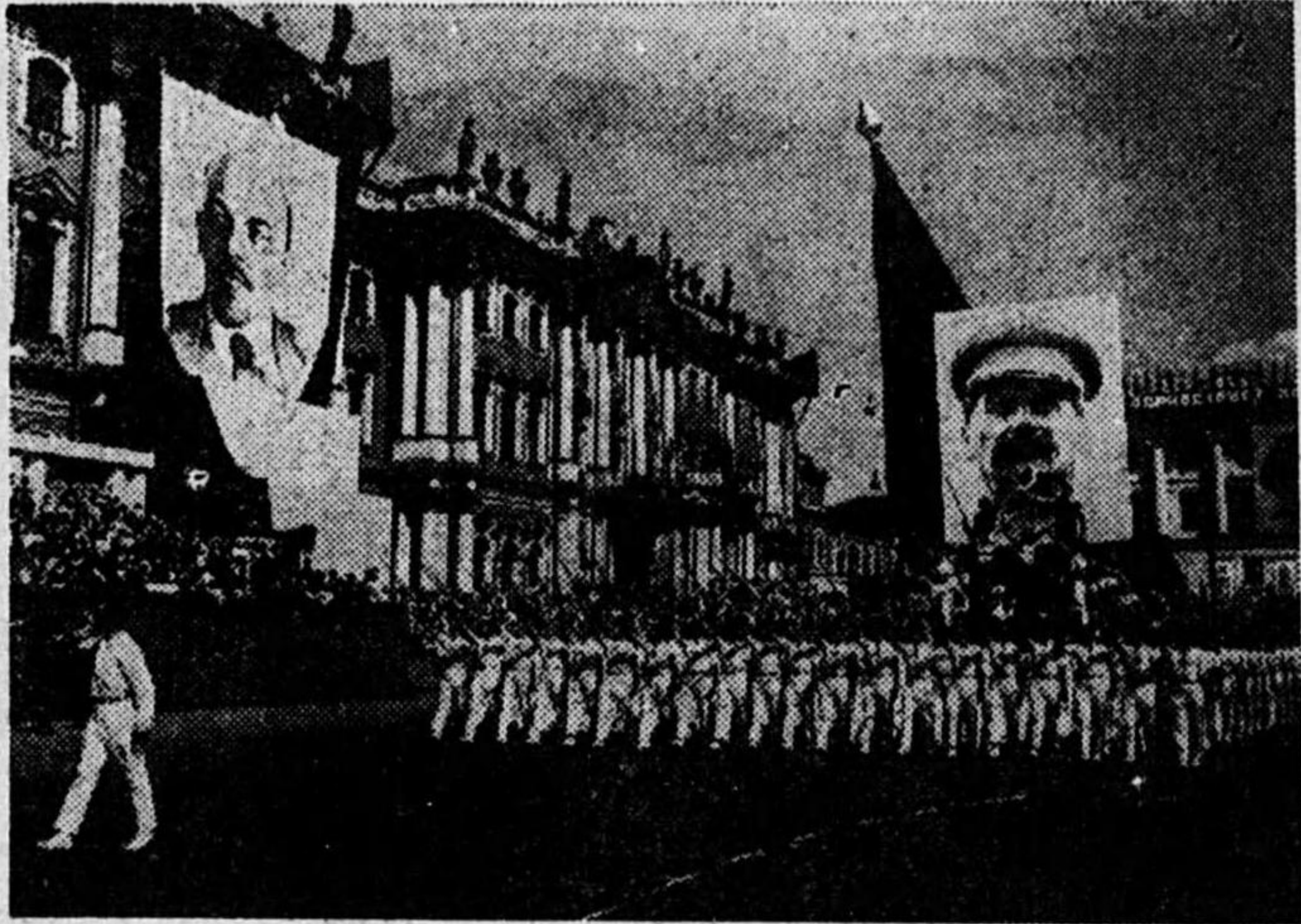
會談を終へて官房室に歸ると、官房長は先刻の面會人に「今日は首領が多忙の爲面會を謝絶します」と厳然として宣言すれば、皆黙々と従つて退出する様は日頃の訓練と統制を偲ばせる。

ブラジルを擧げて渦中にある非常時の景團氣は、インテグラリストの極右運動の又となき温床で血氣に逸る青年の人氣を集め抜くべからざる地盤を擁してゐる。殊に共産黨を倒して以來インテグラリスタ黨は順調な發展を辿つてゐる。然し第二の難關が既に眼前に横たはつてゐる。それは綱領にある政黨否認を初め、現聯邦政府に對しても幾多の點に於て見解に相違があり、特に地方分權を主張する州政府とは最も衝突し易い。

既にインテグラリスタ支部の閉鎖解散を命じた州政府は四つに達し、聯邦議會も左右兩極派の運動を取縮らうとする態度を見せてゐる。従つてこれからが眞にインテグラリスト青年の試練を受ける時である。次期大統領の選舉問題は早くも火蓋を切られたが、プリニオ・サルガードの名も候補者の一人に擧げられてゐる。勿論現在では當選は未だ尙早のやうであるが、彼の大統領就任は必ずしも永遠の夢ではないかも知れない。

ブラジル全國に漲る維新の空氣に乗じてファツシヨマがひのインテグラリスタが政權を握るか、

それとも聯邦政府の穩健的愛國運動が功を奏するかは、ブラジルと深い關係のある我國に取つても興味深い問題である。何れにせよブラジル維新に躍る愛國運動の對象は新時代を擔ふ青年であり、彼等青年の動向は注目の的となつてゐるのである。



威示ツ！ホスるけ於にドーラケンニレ

覺醒と緊張が必要であつた二、三年前までは政治運動であつたが、政治的に安定して来た今日では文化運動となつたと同時に、國防的運動と移り變つて来たといふことが出来る。

次にソ聯が、近年、文化と國防に關聯して特に力を入れ、今や全國的に巻き起されてゐる新運動がある。それは體育、スポーツ振興運動である。

従來、ソ聯には體育最高評議會といふものがあつて、こゝで體育、スポーツを指導してゐたが、しかも組織も小さく餘り權威のある機關ではなかつた。ところが昨年六月、これを改組強化して内閣直屬の有力機關として權威ある體育スポーツ委員會を組織することとなつたが、これはいはゞ、スポーツ省ともいふべきものゝ新設で、これによつて體育とスポーツを大々的に全國的に發達せしめようとしてゐる。その目的は青年大衆の休息の時

## トエウソ

# 國防に結びつけて

## スポーツ獎勵

— コスモ  
員派特山丸

ソ聯の青年運動は、自然發生的なものではなくて、常に一定の黨の方針のもとに指導され發展されてゆくのであるが、ソ聯青年の前衛分子たるコムソモール（青年共産黨同盟）のごときも、昨年のはじめに規約の改正があつてかなり重大な本質的變化が起つた。従來、コムソモールは共産黨にひき續いた純政治團體であり、コムソモールは二十五歳になると、ほとんど自動的に黨員となれたものだが、今日ではいままでどほり黨とは連絡があるが、コムソモールだからと容易に黨員になれず、その本質はむしろ文化團體化し、青年大衆の教養機關となつたのである。と同時に近年戦争の危機が叫ばれる時代となるとコムソモールまた極めて國防的色彩を濃厚にして來てゐる。

コムソモールは必ず軍事教練を経ねばならぬのである。だから、ソ聯の青年運動は國內的に政治的



間を、文化的に利用させ、國家有事の際に備へようといふわけである。

従つて、その設備のために費用を惜しまず、今日すでにソ聯全國で四千五百五十のスタヂオンおよび競技場を有し、二千三百の屋内體育場、八百の水泳およびスキー場、二百の體育館があり、體育設備では世界第一だと誇つてゐるのである。レコードを作ることをもつてブルヂョアの遊戯視してゐたソ聯が、スポーツの發達したこのごろでは産業技術と同様にスポーツ技術を獲得して、先進資本主義國のレコードに「追ひつけ、追ひ抜け」をスローガンにするほどになり、しきりにレコードが云々されるやうになつたし、毎年夏には、モスコの赤色廣場でスポーツ祭が催され、數萬の若者が赤銅色に灼けた肉體の大示威行進をやるし、オリムピックに對抗して、ソ聯の「スパルタキヤード」が催されることにもなつた。ソ聯のスポーツが「文化的休息」として獎勵されると同時に、その著るしい特質は國防と緊密に結びつけられてゐることである。それはゲーテオー章運動である。ゲーテオーとは「労働と國防の準備成れり」といふ言葉の略語で、各種體育スポーツの一定の標準を作つておいて、この試験に應じさせ、及第した者に、右のゲーテオー章を授け、これを胸間に飾らせてその名譽を誇らせるのである。

このゲーテオーの特徴は、ある特殊種目だけ優れて出來ても駄目で、肉體各部の均等的發達にあり、第一級と第二級に分けてゐるが、最高級たる第二級となると、なか／＼大變で、年齢により、また男女の性別によつて標準を違へてゐるが、

二十歳から二十五歳の青年の標準を示せば、五キロを二十一分内に走れ、走り高跳びは一米四〇、銃を持つて六十米を十三秒で走れ、また水をくゞつて十五米泳げねばならず、スキーのジャンプが十米といつた工合に自動車、手榴彈の投擲、射撃、體操、護身術として拳闘、相撲、柔道、擊劍（女子は柔道の逆手）のうち一つが出來ることなど十八種目が悉く全部出來ることを條件としてゐる。

現在第一級、第二級のゲーテオー章を授與された者は約五百萬人に達してゐるが、ソ聯の期待するところは、初等學校の生徒全部がペーゲーテオー章（労働と國防に留意せよ）を受け、中等程度の學校の全生徒はゲーテオー第一級章、大學、専門學校の者はゲーテオー第二級章佩用者といつた風になることにあるといふ。

いづれにせよソ聯のスポーツ熱は、近時の青年運動、大衆娛樂の最も代表的なものとなつたといふことが出來よう。



加州大學生の反戰運動

であつて、日本におけるよりも旺盛であるが、それはアメリカのみが持つ青年運動ではなく世界的のものである。州立大学の殆ど大部分において軍事教練が全米各州の必修課目となつてゐるが、それは單に在郷豫備將校を養成することを目的とするに過ぎない。

アメリカは中央集権でなく、各州が殆んど獨立してゐること、文部省が存在しないこと、國土が廣く資源に富むこと、ファシズムのイデオロギーが普遍的に行はれてゐないこと。

それらが日本における青年訓練所、又は農民道場の如き特殊の青年訓育機關の出現を奨励しないものと察せられる。それかといつてアメリカ人の愛國精神が稀薄であると斷定することも、アメリカ魂が存在しないと見做すことも誤りである。

## カリメア

### 漲る反戰思想

#### 多い宗教的な色彩

伊藤特派員

「青年運動」といふ意味が日本、イタリー、ドイツ又はソヴェト聯邦の如き一定のイデオロギーにより統制され

- (一) 中央本部より指令を受け
  - (二) その範圍が全國的であつて
  - (三) 愛國主義を信條とし
  - (四) 軍事的訓練を主とするものであるならばアメリカにおいては「青年運動」は殆ど行はれてゐない。
- アメリカには基督教青年會、同女子青年會やボーイ・スカウト、ガールズ・ガイドの運動は普遍的

アメリカ全國民の國旗尊重、國家に功勞あつた人々に對する敬意、戦死者及びその母に對する尊敬と感謝、全國各學校における毎朝の國旗禮拜、歐洲大戰參加當時學生が擧つて出征を志願したの  
で、全國の凡ての學生及び専門學校ががらあきになつた事實などを見れば、アメリカ人の國家に對する精神が他の國々のそれに較べて決して劣つてゐないことが判明するであらう。一般にアメリカ人は平和を愛好し、大義名分の立たぬ戦争を嫌ふのではあるが、勇氣に缺けてゐるとか、愛國の精神に乏しいと見るならば誤りであるといはなければならぬ。

アメリカの青年運動の特徴は(一)支配階級からの強制が極めて稀薄であること、(二)青年層自體の創意發案とその實踐によつてゐること、(三)國防精神又は愛國主義を偏つて高唱せざること、(四)宗教團體の指導が顯著であること、(五)スポーツとスポーツ精神が横溢してゐることであつたが、一九二九年の恐慌以來失業防止と反戦の運動が旺んになり失業防止と反戦の運動のために全國の青年、殊に學生が總動員されるやうになつた。

中央政府の指令の下にある強制的訓練は、各州立大學におけるROTC、即ち軍事教練だけであり、中央政府の援助と指導のもとにあるものはCCCとNYA運動位なものであつて、他の凡ての青年團體は青年層自體の發案になるもの、宗教味を帯びるもの又はスポーツ精神を基調とするものである。例へば青年層自體の發案になるものは、米國學生同盟、全國學生聯盟、米國青年協議會など、宗教團體を背景とするものとしては組合教會及び長老教會のクリスチャン・エンデ

イヴォア・ソサイエチイ、ノチスト教會のエプウオース・リーグ、ユダヤ教の青年信仰團體ハーダスサーなどがあり、宗教色は持つが、一般的であり教養と社交と娯樂とを多分に含むものとしては新教の基督教青年會及び同女子青年會、ユダヤ人のユダヤ教青年會及び同女子青年會、舊教のナイト・オヴ・コロンバスなどがあり、純粹のスポーツ精神に立脚するものとしてはボーイ・スカウト、ガールズ・ガイド、シー・スカウトなどがあり、軍人關係においては在郷軍人諸團體の外に歐洲大戰中例の英軍において創始されたキリスト教主義のTOC・Hクラブあり、農村關係においては農務省を後援とする地方男女青年のための4Hクラブ——農村の若い男女を訓育して模範的市民とする機關であつて農務省及び地方自治團體から指導と援助とを受ける。4Hはhead, hands, heart, healthの頭文字をとつたもの、これによつて同クラブが頭腦と技術と情操と健康との練習を目的とすることが判るなどがある。

## 失業青年に職業と學業

伸べられる救濟の手

アメリカの青年運動のうち注目し價するものは、



達年青のCCCふ園と事火山

中央政府及び地方  
政府の指導と援助と  
のもとにあるものと  
しては ROTC と C  
C と NYA であり  
青年層自體の發案と  
助長によるものとし  
ては米國學生同盟と  
全國百六十の學生團  
體によつて組織され  
た全國學生聯盟と米  
國青年協議會であら  
う。

年代的にみて一九二九年秋の恐慌以前から存在したものは ROTC のみであつて、他は凡て恐慌以後

組織されたものであり、學生同盟と學生聯盟と青年協議會とは一兩年前に現れた新興團體である。

ROTC (Reserve Officers Training Corps)、即ち大學生に軍事教練を施して豫備將校を養成する機關は、一八六二年議會を通過したモーリル條令及び一九二〇年の國防條令によるものであつて、その要點は(一)全國の州立大學生は學窓の最後の二ケ年間毎週少くとも三時間の軍事教練を受ける。中央政府はその全部の經費を負擔する。(二)州立大學以外の諸學校においても軍事教練を獎勵する。軍事教練を實施する學校にその費用を下附するといふにある。

現在軍事教練機關を有する學校の數は二百廿八、そのうち強制的に教練を施す大學及び専門學校百十八、軍事的訓練を主要課目とする中等學校卅七、軍事教練を隨意課目とする中等學校七十三であり、これに對する國庫の支出は年約一千萬ドル、軍事教練を必修課目とする學生一人當りの軍事全科修了までの費用は七百三十九ドル、隨意課目とする學生一人當りのそれは三百五ドルである。なほ軍事教練を必修課目とする全國四十八州の州立大學において最近反戰運動が起り國民の注目を惹いて居り、既にミネソタ、ミズーリ及びウイソコンシン三州の大學はこれを隨意課目とし、オレゴン州立大學の學生は、一九三六年の總選舉において軍事教練強制反對を州民一般投票に問うたが、右反對案は大多數で否決された。しかし州立大學のみならず全國學生層における反戰運動、從つて軍事教練反對運動は最近兩三年來積極化し目覺しく行はれてゐる。

アメリカの經濟史によれば、アメリカには過去において數多くの恐慌が周期的に見舞つたが、一九

二九年の恐慌程全國民に深刻な打撃を與へたものはなかつた。産業不況の結果、そこに空前の失業者を出し無数の青年が就職難に襲はれた、その結果アメリカの青年は自暴自棄に陥り、青年層の犯罪数は加速度的に増加した。

此非常時局に處すべく案出されたのが(一)地方農村青年救済のためCCCと(二)都市學生救済のためのNYAである。

CCC (Civilian Conservation Corps) 即ち民間資源保管隊は、ルーズヴェルト政府のNRAの一部門として一九三三年に創設され、監督官廳は農務内務及び陸軍の三省であつて、通學せざる地方の青年に職を與ふるとともに、これに勤勞と規律に對する習慣をつけ、善良なる市民たらしめると同時に荒廢に歸せんとする天然資源を保存することを目的とする。

即ち無職の青年をキャンプに收容して軍隊式の規律ある生活を営ましめ、荒廢森林地帯の植林、道路の敷設、森林火災の防止、小堰堤の築造、小公園の設置などに従事せしむるものであつて、衣食住は官費、毎月の給料は三十ドル、その三十ドルの一部を家へ送ることになつてゐる。一九三五—六年に互る會計年度におけるCCCに對する國庫の支出は約五億三千萬ドルに達した。青年にとつてキャンプ生活程好ましいものはなく、且給料を貰ふことが出来るのでこれに對して應募する者多く、一九三六年末の報告では全國を通じてCCCのキャンプ數三千弱に達し、これに起居するもの約百五十萬に及び、その成績がよいので景氣が恢復してもこの事業は多分繼續されるものと見られる。

一方NYA (National Youth Administration) 即ち全國青年救済局は不況時代における十六歳乃至二十五歳の都會の青年、殊に學生を救済するために一九三五年六月五千萬ドルの豫算をもつて設けられたもので、その目的とするところのものは、

- (一) 失業青年に仕事口を與ふること
  - (二) 青年に職業教育を與ふること
  - (三) 貧窮學生に學資を給與して學業を持續せしむること
  - (四) 失業青年に達する救済事業を新たに起すこと。
- などであるが、実績から見れば學資不足のために中途退學せんとする者を救済することに主力が注がれ、NYA法によつて全國約五十萬の學生が救済されてゐる。即ち貧困なハイスクール生徒は、通學交通費又は晝食費として一ヶ月六ドル前後、大學及び専門學校學生に對して勉學の餘暇に仕事をさせて月十ドル乃至廿ドル、大學院學生にも同様約四十ドルを給與することになつてゐる。

## 底を貫く自由

### 聽てジャズの渦へ

以上の政府の非常時青年救済事業は、其趣旨は立派であるが、その恩典に浴するもの數は十分で

あるといはれない。従つてこれに對する不満の聲があり、最も力強くこれを批判攻撃する團體として米國青年協議會 (American Youth Congress) が存在する。

この青年協議會は一九三五年の夏全國千三百五の青年諸團體によつて組織せられた新興團體であつて、現在約百七十萬の會員を有し、本部はニューヨークにあり毎年七月四日、即ちアメリカ獨立記念日前後にかけて全國大會を催し、一九三六年の大會はクリーヴランドにおいて開かれた。

このAYCこそアメリカの青年運動の團體として最も注目されるべきものであつて、其宣言及び決議は今日アメリカの青年の多數が何を考へ、何を欲求してゐるかといふことを端的に示すものである。この團體の構成分子は種々雑多である。例へば反戦及び反ファシストのグループ青年社會黨及び同共產黨があるかと思へば、基督教青年又は基督教諸宗派附屬の青年團があり、黒人の團體もユダヤ人系の團體もスポーツ團體も含まれてをるといつた状態であるから、そのプログラムの決定に當つて議論百出するが、大體において、不況時代における青年の就職權と生存權を主張し、徹底的失業救済を叫び、極端な國粹主義に反對して自由主義を高唱し、反戦及び反軍事教練の運動を試むる點において意見が一致してゐる。

彼等はそれらの主張をアメリカ獨立宣言書に類似の形式を持つ「アメリカ青年の權利の宣言書」において明かにしてゐる。彼等が議會に對して第一に要求しつゝあることは、一九三六年三月上院議員ペンソン氏によつて提出された上院第三六五八號案、即ち十六歳乃至二十五歳の全國の青年男女に國



モテヨシツアフ反の生學大ゴカシ

費をもつて職業教育を施し且つ就職せしむる。凡ての青年男女にハイスクールは無論のこと、専門學校又は大學において十分學習する機會を與ふることに、といふペンソン案の成立である。米國空前の不況によつて學生は退學を餘儀なくされ、退學生は無論のこと、學校卒業生も、又學外の一一般青年も就職口を奪はれてその日の生活に窮し、しかも前途に光明の認むるものがない。この非常時現象が前述の米國青年協議會の如き青年聯合團體の組織を促進し、アメリカ青年をして生活權の確立を叫ばしむるに至つたのであるが、さらに海外におけるファシズムの擡頭、それによる國際的不安、これに對するアメリカの國防の充實、軍備擴張のための莫大なる國庫の支出—それらの現象が感傷的なアメリカの青年に反作用を起し最近流行の反戦運

動を招來した。この運動の中心團體は米國學生同盟 (American Student Union) である。

このASUは一九三五年に組織せられ、米國青年協議會内の最も有力な交渉團體である。會員は全國の中等學校より大學に至るあらゆる學校の學生でその數二十萬と自稱してゐる。彼等は戰爭反對の外に學内の自治の確立、言論及び出版の自由、異人種に對する不平等待遇の撤廢などを要求して地方的、又は全國的に示威運動を行つてゐる。

以上は最近アメリカにおいて注目されるべき青年運動の内容と方向とに關する簡單なる記述であるが、新興青年諸團體に共通であるところの生活權の要求乃至反戰宣言は主として一九二九年以來の不況に由來するものであり、しかもアメリカはその不況を漸次克服して好況時代に還元せんとし、景氣の恢復は底力あるものであるから、アメリカの青年運動もこれに從つて近く轉回されるものと豫期され、しかもアメリカの青年學生の間にはイデオロギー的色彩少く、左右兩派の對立は尖鋭でないから好況時代の再現とともにアメリカの青年學生の大部分はアメリカ人獨特の明朗さを恢復し、不況時代以前の如くジャズ的行進を續けることになるであらう。

まして近來世界は資源豊富な國と源資貧弱な國、現狀に満足して現狀維持を希望する國民と、現狀に不満であつて現狀打開を希望する國民との二つのキヤムプに別れ、この二つの陣營が對立抗争してゐるが、アメリカは日本やドイツやイタリーと違つて前者に屬し、自足自給の國であり植民領土の擴張乃至原料生産地の獲得を必要としないから、景氣の恢復とともに青年層から非常時風景が除去せら

れ、アメリカの青年學生が朗かなヤンキー式狂想曲を續けるであらうことは豫期されるのである。

# ムヤシ

## こゝにも黒の波

### スポーツ興隆の機運

クツコンバ  
員派特木青

シヤム國における青年運動はその他のあらゆる運動、たとへば政治運動、社會運動、婦人運動などとともにほとんど皆無といつてよい。シヤムといふ國は、實は文明國の施設はきはめて部分的であり上つ面だけではあるが、とに角商品陳列場のやうに、一通りはツラリとならべてあり、項目だけはそろつてゐる國柄なのである。

飛行機のごときも一臺や二臺はベラボーに新鋭機をもつてをり、汽車はディーゼル機關車を有してゐるといつた有様で、その他なんでもかでも大抵のものは名目だけ揃へてゐるのであるが、しかし内容の充實したものがあつかうといふと頗る疑はしい。むしろないといつた方が當つてゐるのである。

青年運動のごときも文部省管轄下にかゝる方面を受けもつデパートメントがあるにはあるのだが、さて何をやつてゐるのかと調べて見ると實は何にもなく、お役人がウヨウヨして何をしたものかと思案投首だといふのが現状である。まづ思想團體について聞いて見ると、この方は絶対にないと返事を聞いて驚いてしまつた。彼らの曰くシヤムはまだ教育が普及してゐないので思想方面に運動は起らない。むしろいかに教育を普及せしめ國民の知的向上をはかるか當面の問題なのださうだ。それでは他の方面に何か青年運動らしいものはないか？ 少し縁が遠いかも知れぬが、或ひはピントがぴつたり合はぬかも知れぬが、とにかく青年のグループがあり、ある種の訓練を行つてゐるから、これを青年運動としていさゝか紹介してみることにする。

まづボーイスカウトについて簡単にのべてみよう。シヤムのボーイスカウトは先年日本のボーイスカウトと交歓を行つたことがあり、日本でもかなり存在を認めてはゐるのだが、この方は實際をいふと日本よりシヤムの方がはるかに先輩で、かゝる組織の出來た年代からいふとシヤムは世界で第三番目の古い歴史をもつてゐる。

何でもシヤム國第六世ウチュラウツド王が歐洲に旅行され、イギリスあたりでボーイスカウトが活躍してゐるのを見て、是非シヤムにもかかる青少年の團體がほしいと考へられ、歸國後一九二二年ごろはじめて國際的なボーイスカウトを組織した。

國際的といふのはイギリスあたりの規定をそつくりそのまま輸入したからかくいふのである。初め



はバンコックだけにしかなかったのが、今では全国的に擴がりその數約九萬人に達してゐるといふからシヤムとしては大出来である。熱帶國の特徴として人間の發育が他國に比較して非常に早いので、このボーイスカウトも少年とはいふものゝ一見かなりの年輩に見え青年團といつた感じを受ける。ボーイスカウトの外にシースカウトも組織しようとの議が最近起り、文部省では來年度から實施したいとの希望で豫算を計上してゐる。これもシヤムではちよつと無理で、あるひは名目だけで終るのではないかと思はれる。

このほかに最近勃興したO・T・Cといふ青年運動があることを見逃すことは出来ない。

これは眞實の青年運動で、各國を風靡するフアツシヨの大波に乗り、シヤムにもかうした團體が生れたのであるが、O・T・CはOfficers Training Corpsの略語で通稱O・T・Cと呼んでゐる、その目的は軍事訓練を施し、團體訓練を施して大いに國家意識を發揚させようといふので、現首相ピヤバボン氏の肝煎りで國防相あたりが後援して出來てゐるのである。その數も極めて多く、全國を通じて十三萬人の青年が加盟してゐるが、彼らが一定の年限を経ると徴兵検査にあたりある種の特典を與へられることになつてをり、日本の青年學校などといつたやうなものと組織も程度もよく似たものである。時々機關銃などの訓練を現役將校から與へられてゐるのを見かけることがある、服裝もボーイスカウトなどのハイカラなものと同様に質實剛健に、軍隊式に出來てゐる。O・T・Cはやつと昨年出來たばかりといふから、それにしてはすばらしく早く擴がつたものである。これとは別に最近スポーツ

を盛んにしようといふ運動もあるが、これは一九三六年夏のオリムピック大會に刺戟され、一九四〇年の東京大會をめざして急に起つた運動で、また左様な團體が出來たわけではない。首腦部の一部にかゝる考へを有してゐる新人が、内々運動を進めてゐる程度で來年度（一九三七年四月以後）の豫算には日本から陸上、水上選手各一名を招聘しコーチを受けることになつてゐる。

この外に婦人運動としてジュニア・レッド・クロスなる團體があるが、これは主として教育に努めたりそのあひまに料理の講習を行つたりする程度のもだから大して問題にならない。

# ツイド

## 國家に勞働奉仕

ナチス自慢の二團體

演田特派員

ドイツの青年運動といへば、アルバイト・デイーンストとヒトラー・ユーゲンド（ユングフォルクはヒトラー・ユーゲンドの範疇に含めてよからう）とであらうが、アルバイト・デイーンストは一九三六年六月に、ヒトラー・ユーゲンドは一九三六年十二月に何れも義務化されて、一段とその活動は目覚ましくなつてゐる。見方によつてはアルバイト・デイーンストは最早青年運動の域から蟬脱して、ドイツの産業に突入してしまつたから、眞の意味の今の青年運動は、ヒトラー・ユーゲンドであるともいへよう。

アルバイト・デイーンストの成立は一九三四年で、始めは本人の希望により十九歳以上のものがこれに入所し、常時シュバートン（シヤベル）を持つて國家の爲に半年間勞働を奉仕するものである。

その勞働とは築堤工事をやつて沼澤地を耕地に改變するとか、森林の伐採に従事するとか、舟大工をやつて舟を建造する等範圍の廣いものである。

これが一九三六年六月には十九歳以上のドイツ青年は必ず一度はここに勤務せねばならない事に義務化された。しかしてドイツ政府は同年九月四ヶ年計畫を發表した際、ゲーリングはアルバイト・デイーンストをして農地の耕作や收穫（ジャガイモ掘り、大根掘り、麥刈入れなど）に奉仕せしめることになし、又同年秋北海地方のアルバイト・デイーンストは海岸地の築堤勞働に従ひ、また炭田地方では石炭採收の跡の凹地埋立工事を營みかくて彼等は最早單なる修養一方の團體から脱して、ドイツの産業の埒内に完全に参加し、ドイツ重要部分を動かしてゐるといへよう。以前でもこの勞働奉仕を経た青年は就職の機會



トヒラテユゲンドの遊戯

を得易かつたさうだが、今ではこの労働奉仕を経ない限り、ドイツ青年は、就職の機会を失ふことになつてゐるといふ。十九歳以上であるから、大抵立派な體格を持つてゐるし、労働中は十一月の小雪のふるときでも、ズボンと靴をつけただけの裸體で、シュパーテンを使つてゐる。夜は一室十人位づつ寝るやうだが、指導者は彼等に一人である時間を出來るだけ與へることを心掛けてゐるさうだ。また「労働は祖國に對する光榮ある義務と權利だ」といふことを、教育の根本觀念となし、機會ある毎に祖國の觀念を吹き込んでをり、また他方では手工、音楽、劇などを彼等にやらせて慰安させることにも氣をつけてゐる。それから今のドイツが持つ歌ひ易くて然も音律のよい行進曲が、彼等の意氣を旺盛にしてゐる。

ヒトラー・ユーゲンドは十五歳から十八歳までのもので、ヒトラー・ユーゲンドの幼年組ともいふべきユングフォルクは十歳から十四歳までといふことになつてゐる。(女子は十歳から二十一歳までのものがBDM運動の訓練を受ける)ヒトラー・ユーゲンドはカーキ色、ユングフォルクは黒服を着てゐるが、この方では餘り労働はやらせないし、また學校の休暇にテント旅行をするやうな場合の外は、アルバイト・デイーンストのやうに一箇所に長く一緒に寝起するやうな組織ではなく、日本の少年團に似た教育である。

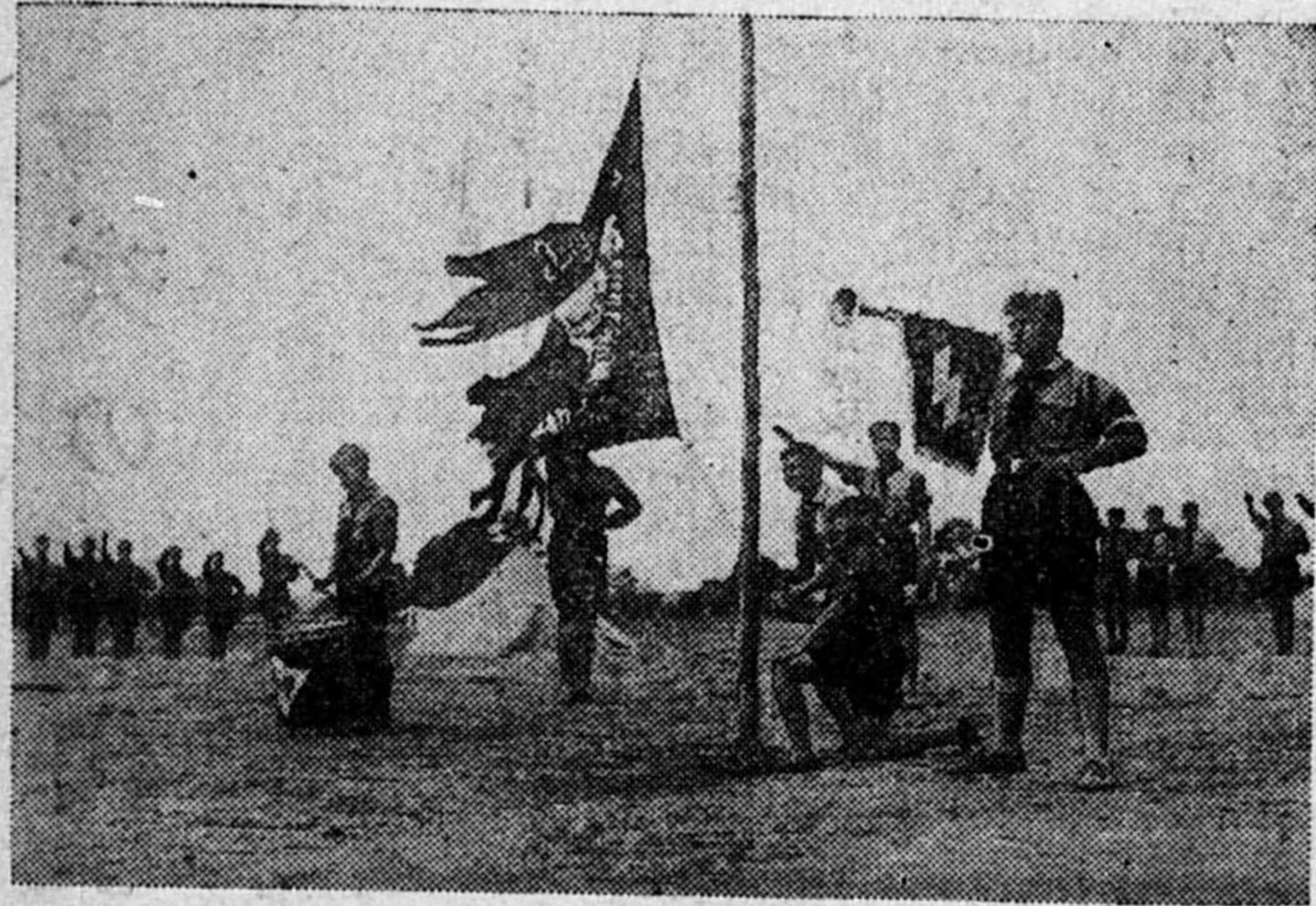
## 次の時代を荷ふ

### ヒトラー・ユーゲンド

ヒトラー・ユーゲンドの最高指導者のシュラツハ氏は次のやうに説明する。

ヒトラー・ユーゲンド(ユングフォルクを含む)では身體を鍛錬し品性を陶冶するのを趣旨とする。祖國に對する軍事上の勤務といふ點はヒトラー・ユーゲンドでは軍隊より廣義に解して實施し、國民においてアドルフ・ヒトラーの政治上の兵卒としての義務を強く教育せんとしてゐる。また制度としては義務化されてゐるが、精神においては既成概念を強制するより創意を生かすといふことを教育の根柢としてゐる。自發的義務觀念を養成する事はやがて彼等が後日成長して後、ナチのよき手足となつて十分働き得るものだ。

ヒトラー・ユーゲンドは労働奉仕を第一の目標とはしてゐないが、消防を實習させたり、また一九三六年十二月初めシュラツハ氏がその農業指導者に對して發した訓令には、四ヶ年計畫のために農民のみならず、全國民の力を協同一致せしめるを必要とする、よつて一九三七年夏には、青年の組織さ



ヒトラー・ユーゲンドの體操訓練

れた能力を提供して、收穫の安全を期したい。  
と高調し、またゲーリング空相は十二月五日と六日には『ドイツの全青年は四ヶ年計畫の油の原料たるべきブナの實（ピーチナツ）を採收せよ』と命じてゐるところを見れば、ヒトラー・ユーゲンドも、ドイツの産業に次第に参加せんとしつゝあることを示してゐるといへよう。  
十二月に公布されたヒトラー・ユーゲンドに関する法律には、ドイツ政府はドイツ國民の將來は青年にかゝつてゐる。すべてのドイツ青年はそれ故に將來の義務を準備せねばならない。  
といふ言葉を付して公布してゐる。法律は第一條でドイツ國內の青年はすべてヒトラー・ユーゲンドに包括されるべきこと、第二條でドイツ青年は身體上、精神上、道徳上でナチス精神を以て國民と國民の團體生活に對する義務に合致するやう教育さるべき

こと、第三條でこの教育の任務は黨の國家青年指導者に一任さるべきこと、國家青年指導者はドイツ國の青年指導者であり、また總統に直屬すること、第四條でこの法律の施行細則は總統が発令することを規定してゐる。

そこでドイツの青年男女が十歳に達してから後の過程を考へると、男の子供は十歳から十八歳までヒトラー・ユーゲンドの教育に屬し、従つてナチスへの勤務は十歳から始まるわけである。それから政治的戰士ポリチシエゾルダートとなり、一、二年にしてアルバイト・デイーンストに入所し、それから後で二ヶ年の兵役義務に服することになる。また女の子供もナチスへの勤務は十歳から始まり、十歳から二十一歳までBDM運動の教育を受けるが、十五歳以上の女子についてはこの教育はそんなに嚴重でなく、徐々に進むことにし、成年に達してから入黨する順序である。  
ヒトラー・ユーゲンドの教育は「青年は青年によつて指導される」ことを眼目としてゐるが、指導軍團を設ける必要のあることは、シュラツハ氏も認めてゐる。ヒトラー・ユーゲンドを指導すべき個々の指導係を養成することについては次のやうな方針を持つてゐる。といふのはヒトラー・ユーゲンドの訓練を受けてアルバイト・デイーンストを済まし、更に二ヶ年の兵役義務を終へて來た青年を再びヒトラー・ユーゲンドに入らせて指導係とするといふのである。

# 嚴格なナチの訓練

## 大學で首脳部養成

ドイツ政府は今ブライウンシュワイングに一つと、ミュンヘンの近くに一つの國家青年指導大學（アカデミー・ライヒスユーゲンДФユールング）を設置する計畫を有し、この大學によつてヒトラー・ユーゲンドの首脳部を養成せんとしてゐる。この大學ではフェンシング、乗馬などを習ひ特に體格を鍛錬し、特別な任務に適應すべき精神上の教養を與へた上、少くとも半年間は外國を歴遊せしめて、ナチスを外部からも觀察せしめる。そして若いうちはヒトラー・ユーゲンドの指導係を務めさせ、年を老れば黨の機關へ移らせる計畫である。だからヒトラー・ユーゲンドも何れSSやNSKKと同じやうな役割ができるやうになると、シュラツハ氏は豫言してゐる。

ドイツ青年現在のヒトラー・ユーゲンドの實際を見るに、全ドイツの十歳から十四歳の子供のうち九割まではユングフォルクに参加してゐるから、この方面では特別な組織的規則は當分は必要でない。



進行のトスノーイテトイバルア

次に全國の十五歳から十八歳までの青年のうち六割五分までがヒトラー・ユーゲンドに入つてゐるが、これを地方別に見ると、或る地方では四割しか参加してゐないところもあり、地方によつては八割まで参加したところもあるが、今日指導者側が特に擴大強化の必要を認めてゐるのは、この十五歳乃至十八歳の青年層にあるが、それについては次のやうな具體方針を持つてゐる。

今後十五歳乃至十八歳の男子及十五歳乃至二十一歳の女子のヒトラー・ユーゲンドにおける地位については、今日まで既にヒトラー・ユーゲンド又はユングフォルクに参加して訓練を受けてゐたものは、第一階級となし、これはそのまゝ黨の分子に移り得る。また一九三六年十二月一日以後、法律に従つて始めてヒトラー・ユーゲンドに這入つて來たものは第二階級となし、ユニフォームでも判るやうに

する。

第一階級、第一階級の區別は「前からやつてゐる」「遅れてやつて来た」といふことによるのではなく、「勤務する意思があつたこと」と「特別な義務觀念を嘗て持つてゐなかつたこと」の相違によるものである。然し第二階級のものでも特別な義務を充たせて第一階級に達し得る道を開くのは勿論であるといふ。

シュラツハ氏のいふところによると、十二月の法律により、青年運動の手足が始めて唯一の國家機關となつたことに意味があり、他國の青年運動と異なるところはこの點である。またこの法律による根本的な變化は「ドイツ國の青年指導者は最早鬭争者ではなくなつた」ところにもある。

ヒトラー・ユーゲンドは國家への寄與を考へてゐるのだから、宗教には容喙しない。青年または青年の親達は宗教を自由に選擇してよい。然し宗教によつてヒトラー・ユーゲンドの運動を妨害されることは許さない。

またヒトラー・ユーゲンドと學校教育との關係を見るに、ドイツ政府は一九三六年十一月三十日に義務教育制を改正し、今までは七歳から十九歳までの十三年間の義務教育であつたのを一年間短縮して、七歳から十八歳までの十二年間となし、ヒトラー・ユーゲンド、アルバイトデイーンスト延いては兵役年限との關係を調整したが、ヒトラー・ユーゲンドの勤務については學業に妨害とならぬやうに心掛けることに話がまとまつてをり、シュラツハ氏は義務教育年限短縮に伴ふ特別の試験準備のた

めに、ヒトラー・ユーゲンドの勤務を緩和する旨の告示を十二月七日に出してゐる。

今やシュラツハ氏がいふやうに「全ドイツ青年はヒトラー・ユーゲンドである」ことが實現され、全ドイツの青年はドイツの將來を背負つて立つてゐるが、ドイツの指導者が組織の力を眼目にし、またドイツ國民がこれに對應させて行くところは、餘程注目せねばならない點であらう。

スリギイ

# 背後に動く政黨

## 失望の底に喘ぐ若者

ロンドン  
香月特派員

英國に於ける組織化されたる代表的青年團體は、今でも保守黨を母體とする青年聯盟 (Young Socialist League) と労働黨の青年聯盟 (Young Socialist League) の二つである。その他共產黨青年部 (Communist Youth League) の活躍は見逃し得ず、またサー・オスワード・モズレーが主宰する英國ファッショ聯盟のファッショ運動にも青年が吸収されてゐる。かやうに英國の青年運動の主流は何れも政治的思想をその背後に持ち、日本の如く一個の團體に統一せられてはゐないが、これはこの國の傳統の然らしむる所であらう。しかししてこれ等青年の動きは、その屬する政黨の主義によつて規定せられることは言ふまでもなく、それと同時に各黨青年部独自の運動、乃至は傾向が各黨の政治的行動をある程度左右してゐるとは、これまた否定出來ぬやうである。



共産黨青年部員がメスヘン兵を連れてモテ行つてゐる光景

この事實は時代と共に憫む青年の政治的役割の然らしむる所であつて、この國に於ける青年運動の一つの特質をなすものである。一般的青年問題として何が最も緊急事として取上げられてゐるかといふにそれは失業問題だ。的確な數字をあげることは出來ぬが、小學校又は實業學校程度の卒業生にして、就職を希望するものは年々約六十萬人から七十萬人に達するといはれるが、その就職率は低下し失業といふより無就職に憫む青少年が累積しつゝある。この現象は特に恐慌以來激しくなり、青少年の犯罪増加並に體質の低下はこれに原因するところが大きい。かくの如き事態が青年に如何なる影響を與へるかには分り切つてゐる。不安、失望、焦慮の結果現狀に満足せず左右兩翼に走るものも相當あらうが、多くはその不満が内攻して無氣力化しつゝあるといふのが多く人の言ふ所である。こ

れが政府により「憂ふべき事態」として取上げられるのは當然のことで、政府は青年の思想悪化を防止する意味からも、又現在の緊迫せる國際關係からの見地からも、青年問題には相當頭を使つてゐるやうである。政府の今やりつゝある青年對策なるものが、果してどの程度の効果を收め得るかとは別として、次の如きものが實施されてゐる。

一、青年職業委員會 を作り青年失業問題解決の研究

一、青年體質の向上策 これは國民保健運動として、目下政府は大いに力瘤を入れて大いに國民に呼びかけてゐるが、まづ具體的方策として採られたのは、スポーツの奨励であつて、政府は大規模のプールとグラウンドを各所に設け青年體質の向上を圖つてゐる。

一、青年に對する再教育 これは一面小學校卒業生に對する補習教育的意味も持つてゐるが、又他面には消極的ながら青年未就職者を少しでも喰ひ止めて置かうといふ意味が含まれてゐる。

一、小學校就學年齡一年延長 これは前項と關聯するものである。昨年春の議會を通過し一九三九年から實施することになつてゐる。即ち就學年齡を滿十五歳まで延長し、それだけ學力の増進を圖ると同時に就職年齡を一年延長する結果となる。

次に、かゝる状態の青年層に最も強く働きかけるのはモズレーのフアツショ運動である。英國に於けるこの運動の將來については、今までの同氏の運動が失業者の多い地方に伸びて行つたのは、たしかにかういふ時代の青年の心理をつかんだものである。このモズレーの青年獲得を見た勞働黨や獨立

勞働黨などは、盛んに青年層に働きかけ始め、前者は青年部の年齢を低下し、後者はギルド・オヴ・ユースを作つてその吸収に努めてゐる。各政黨がかやうに青年層に働きかける所以のものは、次代の擔當者たる青年の持つ力を欲するものであるが、同時に青年を吸収し得ないやうな政黨はその將來性がないとも言へる。

## 平和への闘争

### 共通した熱烈な欲求

然らば次に政黨における青年部の活動状態は如何といふに、能動的なのは勞働黨と共產黨の青年部である。勞働黨青年部の要求は青年自治權の獲得で、これは昨年十月エヂンバラ同黨大會で議題に上されたが、青年部の左翼化を恐るゝ幹部派はこれを辛うじて抑へた。然しこの問題は今後も常に起る問題で幹部にとつては困つた問題に相違はないが、いつまでこれを抑へられるかは疑問である。また同大會に於ては、青年部は再軍備計畫並に戦争反對を同黨の政策に掲げることが要求したが容れられなかつた。だが後に述べる如く戦争反對の思潮は單に政黨青年部に留るものではなく、あらゆる階級





團年青ヨシツアフのーレズモ・ドルワスオ・ーサ

の青年層に力強く食ひ入つてゐるので、今後戦争反対は再軍備問題と共に常に取上げられるであらう。尙この青年部はミーン・テストの完全なる撤廢を叫んでゐる。

この言葉は字義通りに解すれば家計調査だが、これをなす所以のものは、これによつて政府は失業保険金支拂に制限を加へ得るからである。

このことは又目下進行中の再軍備計画と密接な關係を有するもので、前議會においてチェンバーレン相が「再軍備計画の遂行は財政上容易ならざる問題であるが、然も尙出來得るだけの財政の均衡を得んとせば社會施設に對し考慮せざるを得ぬ」と演説してゐることから直に首肯し得る。

共産黨青年部が最も活動的であることは、その奉ずる主義から當然考へられるが、これに刺戟されて労働黨青年部の一部では共同戦線を張るべきだとさへ唱へ

てゐる。前記の労働黨青年部の自治権獲得要求などもこの事と關聯せしめて考へられるものである。黨の綱領から共産黨青年部が再軍備並に戦争反対を唱へる事はもとよりであるが、この外一九〇二年に制定せる工場法の徹底的改正、女子並に少年労働法改正等の實現に努力してゐる。

保守黨の青年部はその傳統より前二者に比すれば大して能動的とはいへぬが、いづれにせよ青年の發言權が加はりつゝあることは否定出來ぬ。各政黨における青年の活動の他に、いまだ組織化せられざる青年層の無言の力に眼を向けなければならぬ。

現在職を得てゐる青年は約百五十萬人といはれるが、彼等は一九二七年の禁止令によつて労働組合加入は禁じられてゐる。だから政治的立場はハツキリしないが、これ等を含む未組織青年層の間には左も厭、右も好ましくない、だからといつて保守黨にも振向く氣がしないといふのが多いやうである。

たゞ選挙では青年の投票が可なり保守黨に集るやうだが、これは主義の上からではなく、今いつたやうな漫然とした氣持かららしい。それに一般青年に思想的に保守黨を支持するといふ如きもの殆どなく、従つて保守黨青年部には指導階級の子弟以外は入黨者はあまりないといはれる。

理論と實際があまりに喰違ひ大量の未組織青年層が、その適従するところを知らず、青年が無理想になりつゝあるといふことは英國でもいはれてゐるが、これは現在の混亂せる社會状態の當然の歸結であらう。

然しこゝに英國青年のほとんど全部についていへることは、現實の情勢に照らして戦争反對の思想が彼等を強く捉へてゐることである。このことは右翼的傾向のものに僅かに除外例は認められるであらうが、政黨に屬するものも、然らざるものもさうであつて、この英國青年の一般的動向は政府も社會も認めざらんとしても認めざるを得ない根強いものがある。特にこの思想は學生層に最もアピールして、この國の學生思想運動はこれに統一せられてゐる如き觀を呈してゐる。

現在英國ではカレヂ及びユニヴァーシティの學生は約五十萬に達してゐるが、このうち四二パーセント程度は政府並に各種の奨學金により就學してゐるといはれる。だから恐慌以後に於ても學生數はスコットランドを除いては減じてはゐない。然し就職は漸次困難となり、オックスフォード大學は別にこれが對策を講じてゐないやうだが、ケムブリッジ大學の如きは就職委員會を組織して卒業生の就職につき大いに活躍してゐる。

## 戦争と大學生

### 殆ど全大學が反戦

かういふ情勢が學生の思想に如何なる影響を與へるかとは別として、さて然らば學生思想運動の集中的表現をなす戦争反對運動は、どういふ風に發展して來たか、今ではオックスフォードに最も盛んであると言ふが、この運動の發生當時の今から三、四年前の初期時代にはケムブリッジの方が遙に強かつたといはれる。その理由は種々あらうが、それはこの前の大戦で、戦争に参加せる大學生中最も死者の多かつたのはケムブリッジ大學生で、その一割は死し、一割は負傷したといふ事實が、現在の學生に強く響いてゐるやうである。その運動の中心をなすものは學内のフレンド・ソサエティー、(Friend society) ソシアリスト・ソサエティー、(Socialist society) レーバー・クラブ (Labour club) とケムブリッジ労働聯合會の四つの團體で、これが一緒になつて共同委員會を組織して活躍してゐる。

大學生參戰はこの前の大戦のときにもその賛否が問題となり、結局參戰と決定したのであるが、ケムブリッジ大學は科學方面特に化學に特徴を有し、戦争に際してはそのブレインが利用される傾向があるので、學生の頭は當然戦争と大學といふ問題を眞剣に考へざるを得ないやうである。

次にオックスフォード大學である。初めはさう盛んでなかつたやうだが、最近ケムブリッジを凌いでゐる。オックスフォードは幾多の知名な政治家を生み、貴族的で最も傳統の残れる大學だが、ここにも時代の風は遠慮なく吹き寄せてゐる。

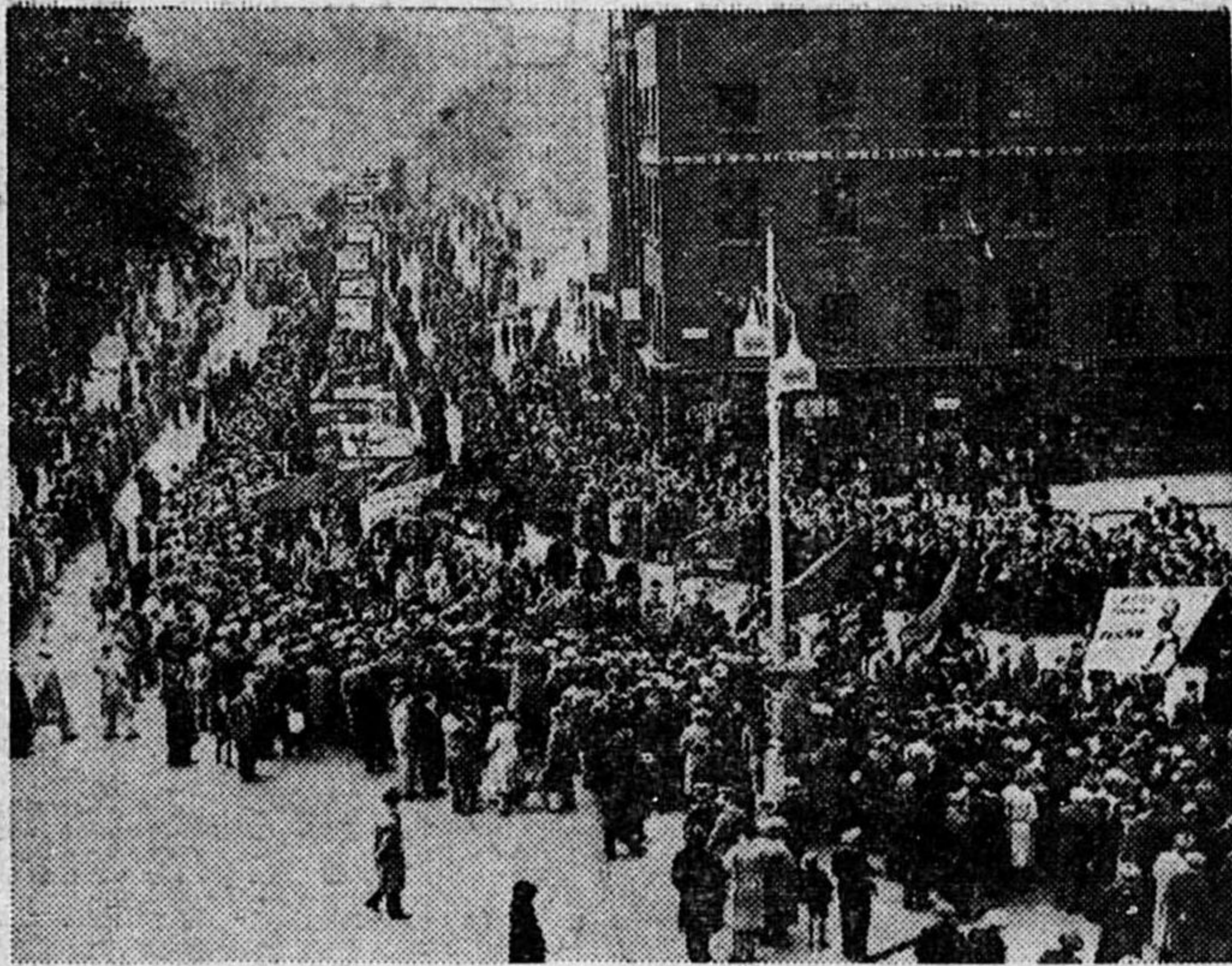
オックスフォード・ユニオン、(Oxford union) (學生討論會) は學内においてもつとも勢力ある團體

で、この會のリーダーになるものは、將來總理大臣が約束されるといはれるほどで、學生としてはもつとも榮譽ある地位だが、最近このリーダーは戦争反対運動者によつて占められ、たしか一昨年あたりの總會では戦争反対決議が通過し、この決議を全國の有名な大學に提議し、その賛否を求めた。これに對しロンドン大學をはじめ賛意を表したが、面白いことには對立の地位にあるケムブリッジは賛否の回答を寄せなかつたさうである。それはオックスフォードに追隨するのが厭だといふ氣分の問題からであらう。

而して右オックスフォード大學學生討論會の反戦決議は、どの程度までにラヂカルなものかは分らないが、當時一般社會を驚かすには十分であつた。

また昨年十一月十一日の休戦記念日には、同大學の有志が團體參拜をなし、記念碑に花環を捧げるといふ計畫があつたが、警察當局はこれを許さず、すつたもんだの學句結局代表者二人の參拜を許し、花環にもその二人の名前のみを記すことを許した。

この一事を見ても政府が學生の戦争反対運動に如何に神経過敏であるかが窺はれる。さて右代表的二大學によつて見られる如く學生の反戦運動は非常に強く、この事は強弱に差はあれ他の大學にも窺はれ、ロンドン大學などもその強さに於ては二大學に劣らざるものがある。この大學はロンドンの町の中にあり、二大學に比すれば殆ど傳統といふ如きものなく、それに金持ちの子弟は殆ど居らず、外國留學生も多いので自由的で反戦思想が生れるのは大して驚くに足らぬとせられる。



昨秋フシアトと街頭衝突事件を起した時共産黨の示威運動

然し先にも言ふ如く、最も貴族的にして保守的な大學であり、知名な政治家や金持ちの子弟が學生の大部分をなすオックスフォード大學が、かやうに急激に反戦的に傾いて來たことは、指導的階級には勿論一般社會に對し一つの謎とせられてゐる。而してまたこの戦争反対の思想は青年僧侶の間にも強く流れてゐる。繰返していふことは、この反戦思想は單にインテリ青年層のみならず英國一般青年の間に流れてゐるといふことである。

尙最後に直接青年運動とは關係はないが、昨秋十月四日に起つたフアツシヨの示威運動とこれに反對する共産黨との街頭衝突事件は見逃し得ない。この衝突は非常に猛烈なるもので、ロンドンに於ては殆ど未曾有の事件と

して社會の視聽を集めたが、これが直接の動機となつて、政府は今後この種事件を未然に防止する意圖の下に今議會に社會秩序法案（治安維持法類似のもの）を提出するに至つた。

社會的訓練を誇る英國も、かくして遂に秩序維持に關する立法を必要とすることになつた。而して衝突事件の鬭爭當事者が、大部分青年であることを思ふ時、この立法も又青年運動に關聯せるものであると言ひ得る。然し一方學生等の戰爭反對の運動などが大して彈壓といふ如きものも受けず、比較的自由にやれるのは傳統の然らしむる所でもあらうが、まだこの國に比較的餘裕が残されてゐることを物語るものである。

國民體位の向上 ★ 定價 一圓

昭和十三年三月五日印刷  
昭和十三年三月十日發行

版權所有  
不許複製

編輯兼發行人 星野辰男  
東京市麴町區有樂町二丁目三番地

印刷人 大橋光吉  
東京市小石川區久堅町一〇八番地

發行所 東京朝日新聞發行所  
東京市麴町區有樂町二丁目三番地

印刷所 共同印刷株式會社  
東京市小石川區久堅町一〇八番地

發賣所 東京丸の内 朝日新聞社  
大阪中の島

276  
745

終